

平成28年度

『いわき明星大学 年報』

Annual Report 2016

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

いわき明星大学

目 次

1. 建学の理念・教育目標・沿革	1
2. 平成 28 年度巻頭 TOPICS	22
3. 地域連携活動	31
4. 教育改革	40
5. 学生の状況	
1) 学生募集の状況	41
2) 学生支援	45
3) 就職支援	53
6. キャンパスアメニティー	56
7. 平成 28 年度事業報告	57
8. 平成 29 年度事業計画	57
9. 組織図（法人・大学）・役員紹介	58
10. 資料	
1) 大学データ	61
2) 学生データ	63
3) 教職員データ	70
4) 会議データ	70
5) 教育活動	74
6) 社会貢献活動	79
7) 研究活動	79
8) FD・SD研修	80
9) 施設・設備	82
10) 報道・雑誌掲載	87

1. 建学の理念・教育目標・沿革

■建学の理念

「学校教育を行い、地域社会に貢献する人を育成すること」

■教育目標

「全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人を育成すること」

○教育内容と教育方法

大学で学ぶ意識を高める少人数・演習形式の初年次教育
さまざまな学修歴をもつ学生に対応した効果的な基礎教育
時代を見据え、地域に根ざし、体験を通して学ぶ専門教育
専門を超えた探究心と充実した心身を育む教養教育
きめ細かな個別指導と快適な自習環境の提供による学習支援

■沿革

1987 昭和 62 年	3 月	キャンパス竣工
	4 月	いわき明星大学開学
	7 月	学友会設立
	9 月	全天候型テニスコート竣工
	10 月	開学式挙行、「エリーニ像」除幕 「エコーII 世号」台湾から回航
	11 月	学生クラブハウス竣工
1988 昭和 63 年	3 月	理工学部、人文学部「研究紀要」第 1 号発刊
	4 月	各種教員免許課程始まる、聴講生制度発足 学校図書館司書資格関連科目開講
	5 月	第 1 回公開講座
	7 月	研修施設「しおさい荘」開所
	10 月	第 1 回 IMU フェスティバル開催
1989 平成元年	1 月	振動・制御実験センター竣工
	4 月	学芸員、学校図書館司書教諭、資格関連科目開講
1990 平成 2 年	4 月	電子顕微鏡室開設、コンピュータセンターシステム増強
1991 平成 3 年	3 月	第 1 回卒業式挙行、第 1 期生 526 人が卒業
	6 月	初代児玉三夫学長に代わり、第 2 代鈴木辰三郎学長就任
	9 月	「エコー3 世号」台湾から回航
1992 平成 4 年	3 月	大学院 2 研究科 4 専攻各修士課程を設置認可

1993 平成 5 年	10 月	学校法人明星学苑 70 周年記念式典挙行
1994 平成 6 年	3 月	大学院 2 研究科 2 専攻に博士課程を設置認可
1995 平成 7 年	3 月	大学院英米文学専攻修士課程を設置認可、理工系館東館(現科学技術系館東館)竣工
	4 月	第 3 代澤田正三学長就任
	10 月	コンピューターシステムをインターネット対応に一新
1996 平成 8 年	4 月	荒井正大理事長就任
1997 平成 9 年	10 月	いわき明星大学創立 10 周年記念式典挙行
	11 月	いわき明星大学同窓会設立式典を挙行
1998 平成 10 年	3 月	ヨット「エコーⅡ世号」退役に伴い学内展示
	4 月	ハイテクリサーチセンター開所
1999 平成 11 年	1 月	大学入試センター試験実施
	4 月	第 4 代寺田隆信学長就任
2000 平成 12 年	4 月	第 5 代斎藤和明理事長就任
	5 月	理工学部環境理学科、人文学部言語文化学科、心理学科の設置認可
2001 平成 13 年	4 月	理工学部環境理学科、人文学部言語文化学科、心理学科を設置
	6 月	人文系館別館(実験棟)竣工
	10 月	いわき明星大学父母会設立
2002 平成 14 年	9 月	ヨット「エコー3世号」退役に伴い学内展示
2003 平成 15 年	2 月	厚生館リニューアル工事完成
	4 月	第 5 代高重正明学長就任
		ハイテクリサーチセンター、産学連携研究センターへ改組
2004 平成 16 年	4 月	高分解能分析電子顕微鏡センター、産学連携センターへ改組
	9 月	科学技術学部 生命環境学科、システムデザイン工学科、人文学部 表現文化学科、大学院人文学研究科 臨床心理学専攻修士課程 設置認可
2005 平成 17 年	3 月	地域交流館竣工
	4 月	科学技術学部 電子情報学科・システムデザイン工学科・生命環境学科 人文学部表現文化学科 大学院修士課程臨床心理学専攻を設置 心理相談センター開所 福島県立いわき光洋高等学校との高大連携開始
		5 月
2006 平成 18 年	4 月	(財)日本臨床心理士資格認定協会 1 種指定校認定 福島県立平工業高等学校との高大連携開始

	9月	中国・遼寧石油化工大学との学術交流訪問団派遣開始
	11月	薬学部薬学科 設置認可
2007 平成 19 年	3月	薬学部棟・学習センター・薬用植物園 竣工
	4月	薬学部薬学科を設置
	6月	陸上競技用グラウンドリニューアル。インフィールドを全面人工芝化
	10月	いわき明星大学創立 20 周年記念式典挙行
2008 平成 20 年	5月	中国・瀋陽薬科大学と国際学術交流に関する協定締結
	7月	第 6 代蔵多得三郎理事長就任
	10月	学校法人明星学苑 85 周年記念式典挙行
2009 平成 21 年	4月	第 6 代関口武司学長就任
		福島県立磐城農業高等学校との高大連携開始
2010 平成 22 年	4月	科学技術学部科学技術学科を設置
	6月	IMU ビジネスカレッジ開校
2011 平成 23 年	4月	ボランティアセンター設置
	6月	福島県立磐城桜が丘高等学校との高大連携開始
		福島県立湯本高等学校との高大連携開始
	7月	「いわき復興祭@いわき明星大学」開催
10月	復興事業センター設置	
2012 平成 24 年	4月	福島県立いわき総合高等学校との高大連携開始
	11月	第 7 代吉田元一理事長就任
2013 平成 25 年	4月	第 7 代山崎洋次学長就任
	11月	双葉郡檜葉町との連携協力協定締結
2014 平成 26 年	6月	教養学部 地域教養学科 設置認可
2015 平成 27 年	4月	教養学部 地域教養学科 設置
		学修総合支援センター 設置
	7月	地域連携協議会設立
9月	学校法人いわき明星大学設立	
2016 平成 28 年	4月	学校法人明星学苑から学校法人いわき明星大学へ設置変更

■ポリシー

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

いわき明星大学は、その教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。
3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。
4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

いわき明星大学では、その教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1. 大学での学修の意義を理解し、大学生としての学修に必要な基礎的能力や生活習慣を身につけることができるよう、初年次教育科目を配置します。
2. 幅広く多様な基礎的知識と基本的な学修能力を獲得するための全学共通カリキュラムとして、基礎科目、教養科目、健康・スポーツ科目の三つの科目群を設置します。
3. 各学部学科に専門教育科目を設置し、専門的な知識・技術や方法論を段階的・体系的に教授します。
4. 地域との連携のもと、課題解決型の授業を展開して、知識・技術の活用能力、コミュニケーション能力、課題探求力、判断力など、社会生活で必須となる能力を総合的に養います。
5. キャリア教育を行い、社会人としてのキャリアを積むために必要な知識と考え方を身につけるとともに、働くことを通して地域社会に貢献する意欲を育みます。
6. 身につけた知識や技術を統合し集大成するために、卒業研究を全学必修とし、丁寧な個別指導を行います。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

いわき明星大学は、その教育目標を理解するとともに、学ぶ意欲に溢れ、大学での専門教育を受けようとして基礎的な能力を身につけている人の入学を希望します。

教養学部の3つのポリシー

教養学部は、本学の教育理念たる「和」の精神に基づく全人教育を根本に据え、専門教育に裏づけられた確かな「基礎学力」および他者とのコミュニケーション能力や困難を乗り越える忍耐力を備えたうえで、自ら主体的に考え行動できる社会人・職業人となるために必要な「社会人基礎力」と「汎用的技能」を身につけた、これからの地域社会を支える中核的人材、すなわち「地域基盤型職業人」を養成することを目的としています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

教養学部地域教養学科は、学部の教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。
3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。
4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。
5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

教養学部地域教養学科では、学部の教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1. いわき明星大学および教養学部地域教養学科での学修の意義を理解し、学修目標を自ら設定できるように、初年次教育科目を設置します。
2. 日本語・英語・情報リテラシーの基本能力、および人文・社会・自然・健康にわたる基礎的知識をしっかりと身につけるための全学共通教育科目として、リテラシー教育科目、外国語教育科目、一般教養科目、健康・スポーツ教育科目の4つの科目群を設置します。
3. 専門性に裏づけられた基礎学力と幅広い教養を身につけるための教育システムとしてメジャー制を導入し、「国際コミュニケーション」「心理と人間行動」「地域と社会」の3つのメジャーと、「復興支援」「地域公共政策」「地域とビジネス」「ICT」「日本語・日本文化」「教職」の6つのサブメジャーを設置します。
4. 進路志向や能力に応じた適切なメジャーおよびサブメジャーの選択ができるように、1年次に基本科目を設置して、地域教養学科の学びの見取り図を与えます。

5. メジャー科目は1年後期から、サブメジャー科目は2年前期から（「教職」は1年後期から）の履修とし、4年次までにそれぞれの分野や領域の専門知識を段階的・体系的に修得できるよう、適切に科目を配置します。併せて、メジャーの専門性を軸に、その補完・補強となるサブメジャーを多様に組み合わせて履修できる、柔軟なカリキュラム編成とします。
6. 2年次、3年次にキャリアデザイン科目を配置し、社会人として必要な知識やスキル、考え方を確実に獲得するとともに、卒業後の進路を見据えたキャリアデザインを描き、働くことを通して地域社会に貢献する意欲を醸成する教育を行います。
7. 主体的な取組姿勢やコミュニケーション能力、課題探求力、判断力を養うために、2年次、3年次のゼミをはじめ、演習、実習、実験、調査、プロジェクト等、アクティブラーニングによる課題解決型の授業を多く展開します。
8. 4年次に卒業研究を置き、地域教養学科における学修で身につけた知識・技術・方法論を統合し集大成します。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

教養学部地域教養学科は、学部の教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. 人間や社会にかかわる幅広い領域について自ら進んで学ぼうとする意欲のある人
2. 地域社会をめぐる多様な問題に関心を持ち、積極的にその解決に取り組もうとする人
3. 大学で学んだことを活かして地域社会で活躍し、地域社会の発展に貢献したい人
4. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調できるコミュニケーション能力を身につけたい人
5. 本学科での学修に必要な基礎的学力と理解力を身につけている人

薬学部の3つのポリシー

薬学部は、明星学苑の校訓「健康、真面目、努力」のもと、豊かな人間性を有し、地域の人々の健康を率先して守ることのできる自立した薬剤師を育成することを教育目的としています。一人ひとりの学生を大切にするとともに、チーム医療における教育を行い、医薬品の適正使用から患者への的確な服薬指導まで十分な対応ができるとともに、チーム医療の中で貢献できる、問題発見能力と問題解決能力のある質の高い薬剤師を育成し、地域社会に有為な人材を送り出すことを目指しています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

薬学部薬学科は、学部の教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。
2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。
3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。
4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。
5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

薬学部薬学科では、学部の教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

独自の教育プログラムとして、“学生の潜在能力を自己力で点火する(ignite)”「イグナイト教育」とその発展形の「プレゼンテーション」を展開しています。「イグナイト教育」は、1～3年次までを3ステップで構成し、TBL（Team Based Learning）/ PBL（Problem Based Learning）を含む能動的学習プログラムから成り、その学修成果として、これからの薬剤師に求められる豊かな人間性、コミュニケーション力、持続可能な主体的学習力の育成ならびに課題探求・問題解決能力の基盤形成を目指します。

1年次から4年次にわたる「イグナイト教育」ならびに「プレゼンテーション」は、下記に示す“連続的で一貫した専門教育”とあいまって、6年制薬学教育の目標の実現を可能にしています。

また、編入生に関しても、それぞれの学年の配当科目に加えて、「イグナイト教育1A・1B」（2年次編入生）、「プレゼンテーション」（4年次編入生）の修得を進級要件とします。

1. 1・2年次では、以下のような手厚い初年次教育や補習教育により、大学教育への速やかな導入を図り、入学早期から医療人を目指して自ら学んでいく自覚を養います。そのために以下の科目を設置します。

- 1) 生徒から学生への変容のための初年次教育として、「イグナイト教育 1A」
- 2) 高校から大学への橋渡しを目的とした「クラムスクール（学内塾）化学」や薬学教育において重要な物理、化学、生物の基礎学力補強を目的とした演習科目
- 3) 研究の基礎となる考え方や技術を学ぶことを目的とした実習科目「自然科学実習入門」
- 4) 薬剤師の職能の理解と動機づけのための「イグナイト教育 1B・2B（薬と仕事）」

2. 2・3・4年次では、専任教員によるきめ細やかな指導により、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に沿った専門知識・技能を修得し、さらにそれを応用して医療現場における問題を解決する能力、コミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を醸成します。そのために以下の科目を設置します。

- 1) 薬剤師として必要な知識、技術、態度を身につけるための薬学専門講義と実習
- 2) 薬学専門科目から得られた知識と考え方を確かなものとし、問題解決に応用できる力を育成するための演習科目「ファーマドリル 1～4」
- 3) ヒューマンズムと倫理観ならびにコミュニケーション能力を醸成するための「イグナイト教育 2A・3」
- 4) 薬剤師として必要な英語力を修得するための「薬学英語入門」「薬学英語」
- 5) プレゼンテーション能力の育成に加え、“知識を知恵に高める”ことを目指す「プレゼンテーション」
- 6) 地域の保健、医療、福祉の現状・問題点と災害時の薬剤師の行動規範について学ぶ「地域・災害医療学」

3. 4・5・6年次では、地域の病院や薬局と連携し医療現場で活躍できる薬剤師となるために、高度な問題解決能力を修得するための知識と判断力の定着を図ります。そのために以下の科目を設置します。

- 1) 医療現場における実践力養成のための「プレ実務実習」「病院実習」「薬局実習」
- 2) 修得した各科目の知識を統括し、医療現場における問題解決に向けて知識を総合的に活用するための「薬学要説」ならびに演習科目「ファーマドリル 5、ファイナル」
- 3) 判断力と問題発見・問題解決能力を育成し確かなものにするための「卒業研究 A・B」

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

薬学部薬学科は、学部の教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. 薬剤師になりたい人
2. 病院や薬局でチーム医療や地域医療に貢献したい人
3. 思いやりと協調性を持って他人と接することができる人
4. 薬学を学ぶにあたって、化学、生物、物理、数学および英語の基礎的能力を身につけている人

看護学部の3つのポリシー

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

看護学部看護学科は、学部の教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。
2. EBN（Evidence Based Nursing：根拠に基づいた看護）に基づき、自律的に看護を実践することができる。
3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。
4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。
5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

看護学部看護学科では、学部の教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1. 1年次に、全学共通教育科目の初年次教育科目とリテラシー教育科目を配置し、速やかな大学教育への導入を図り、看護職を目指して主体的に学んでいく自覚を育むとともに、社会人基礎力を涵養する。（DP5に対応）
2. 1年次から4年次に、全学共通教育科目の一般教養科目、外国語科目、健康・スポーツ科目を配置し、看護の担い手としてふさわしい広い視野と豊かな教養を身につける。（DP1に対応）
3. 専門教育科目として、1，2年次を中心に専門基礎分野を配置し、必要な基本的知識を修得する。（DP5に対応）
4. 専門教育科目の専門分野と統合分野については、基礎看護学・精神看護学・成人看護学・母性看護学・小児看護学・老年看護学・在宅看護学の各分野の科目を、ライフサイクルや学修の深度に基づいて、【看護実践基盤学科目】【生涯発達看護学科目】【健康生活看護学科目】【地域養生看護学科目】の4つの学修カテゴリーと【看護の統合と実践科目】に再構築する。
なお、4つの学修カテゴリーにおいて学修し、身につける力は以下のとおりである。

○ 1年次から2年次に【看護実践基盤学科目】を置く。人間を心身一如の存在としてとらえ、基礎・精神・成人看護学を連関させた観点から、内容的には看護学基礎における基本的援助技術、社会的個人としての人に関わるための方法、ならびに看護的・科学的思考プロセスについて、統合的に学修する。将来看護職に就くためのアーリー・エクスポージャーの位置づけである。(DP1・2・5に対応)

○ 1年次後期に【生涯発達看護学科目】を置く。【生涯発達看護学科目】では、ライフサイクルの観点から、成人・母性・小児・老年それぞれの成長・発達段階の特徴とそれに伴う健康特性および健康課題について理解を深めるとともに、各発達段階に適した健康支援方法について学修する。(DP2・3・5に対応)

○ 1年次後期・2年次前期に【健康生活看護学科目】(導入科目群)を置き、精神・成人・母性・小児・老年看護学への導入を図る。内容的には各分野の概論であるが、人間の心身の健康・生活に関わる相互の連関した科目である。(DP2・5に対応)

○ 2年次後期に、【健康生活看護学科目】(発展科目群)を置く。【健康生活看護学科目】(導入科目群)での各分野の概論、および【生涯発達看護学科目】でのライフサイクルの立体的理解を基盤として、各発達段階において健康障害が起きるメカニズムや特徴的な健康障害について学修するとともに、科学的思考に基づいて看護課題を把握する方法や課題解決に資する理論・援助技術について学修する。(DP2・5に対応)

○ 3年次には、【健康生活看護学科目】(臨地実習科目群)を置く。1, 2年次に修得した知識をもとに、精神・成人・母性・小児・老年と一連の臨地実習を行い、自律的な看護実践能力、および多職種と連携・協働する能力を養う。(DP2・3・4・5に対応)

○ 2, 3年次には【健康生活看護学科目】と並行して、【地域養生看護学科目】を学修する。【健康生活看護学科目】で修得する知識・技能に基づき、居宅あるいは療養施設等、生活する場所に応じた看護課題の把握方法について学ぶとともに、課題解決のための支援や、地域コミュニティ、行政組織との関わり方について学修する。(DP3・4に対応)

○ 3, 4年次に、【看護の統合と実践科目】を配置し、看護に関わる今日的なトピックスや地域特性を踏まえた課題の学修をとおして、これまで修得した看護学の知識・技能の統合を図る。(DP4に対応)

○ 3年次に「看護研究」を、4年次に「卒業研究」を配置し、将来にわたり自己研鑽を継続し、看護実践のための専門性を発展させ、自発的な能力開発を継続する能力や、学士課程教育レベルとしての基礎的な研究能力を育成する。(DP5に対応)

5. 3, 4年次に、保健師国家資格取得希望者（定員 20 人／選択制）を対象に、保健師養成科目を配置する。（DP4 に対応）

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

看護学部看護学科は、学部の教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. 心身ともに健全である人
2. 思いやりと協調性をもって他者と接することができる人
3. ものごとに積極的に誠実に取り組む姿勢が身についている人
4. 看護学を学ぶにあたって必要な基礎的能力を身につけている人

人文学部の3つのポリシー

人文学部は、本学の教育理念たる「和」の精神に基づく全人教育および人文科学の目的であるヒューマニズム精神の涵養を旨とし、今日、真に求められるべき人間性とは何かについて、3学科が文化、社会、個人のそれぞれの観点から探求することを目的としています。一人ひとりの学生を大切にす手塩にかける教育を行い、文化、社会、人間への洞察力を養うとともに、それらに働きかける方法と意欲を身につけさせること、さらに教育・福祉・心理等の専門職に必要な資格を取得させることを教育目標とし、地域社会の発展と安心に貢献できる職業人を育成します。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

人文学部は、その教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 現代におけるさまざまな物事や問題を人文学の方法論を用いて探求し、説明することができる。
2. 人文学の諸分野における知識に基づき、目先の物事だけにとらわれず、さまざまな思考の枠組みで広い視野に立って物事をとらえ、実践的に考えることができる。
3. 実社会において、あらゆる場面に対応しうるコミュニケーション能力とさまざまな状況に応じた自己表現能力を発揮することができる。
4. 自ら問いを立て、それに答えていく力を有することで、自己の生き方の可能性を広げることができる。
5. 教員免許（中学校：国語・英語・社会、高等学校：国語・英語・地理・歴史・公民）や図書館司書、学芸員、社会福祉士、精神保健福祉士等の資格取得支援を活用してキャリア設計をすることができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人文学部では、その教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1. 1・2年次において、少人数制の基礎演習と学科基礎教育科目の学修を通して人文学全般にわたる知識と思考方法を修得させます。
2. 専門課程では、人間性とは何かについて、三学科が文化・社会・心理のそれぞれの観点から探求し、人間や社会への洞察力を深め、他者に対し自分の考えを明確に表明するコミュニケーション能力と社会性を身につけさせます。
3. 4年間の学修成果である卒業研究を一つのプロジェクトとしてとらえ、教員による徹底した指導の下、学生自らに目標の達成に向けて意欲的に取り組ませます。

4. 教育・福祉・心理等の専門職に必要な資格取得も視野に置き、地域社会の発展に貢献できる職業人としての資質と自覚を養います。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

人文学部は、その教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. 高校の主要教科について基礎的な知識を有し、世界の仕組みや成り立ちを考えたい人
2. 多面的な人間の営みについて共感を持ちつつ幅広く考察し、論理的に判断することができる人
3. ヒューマンイズムの精神を大切にし、現代社会が抱えるさまざまな問題に対して積極的に取り組む意志を持っている人
4. 激動する現代社会でたくましく生きていく力を、多様な学問分野を通して身につけたい人

人文学部表現文化学科の3つのポリシー

人文学部表現文化学科では、多様な表現文化を学ぶことを通して、自己を確立し、積極的に発信することができる人材、すなわち、今日の地域社会の要請に適った人文系職業人を養成することを目標としています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

人文学部表現文化学科は、その教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 日本や世界の文学・文化について豊かな知識を身につけ、それらを「表現」の観点から理解することができる。
2. 人間や文化について多面的、論理的に考え、自らのメッセージを発信することができる。
3. 人間や文化に対して深い関心を持ち、主体的、継続的に探究しようとする意欲を示すことができる。
4. 大学で学んだことを活用して、地域社会に貢献しようとする態度を示すことができる。
5. 論述、発表、討論などにおいて、日本語を的確かつ効果的に使用することができる。
6. 言語や映像を通して自分自身を表現することができる。
7. 少なくとも一つの外国語で基礎的なコミュニケーションを行うことができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人文学部表現文化学科では、その教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1～4年次を通して、「読み、考え、書く」能力を実践的に鍛錬しつつ、「文学・言語」「映像・表現」「英語コミュニケーション」の3つの選択科目群からなる専門教育を実施します。

3つの学問分野はそれぞれ、表現における発信者としての「自己」、読解対象としての「他者」、および読解に基づく発信（自己表現）の「技法」を中心的なコンセプトとして体系化されています。学生一人ひとりの関心とニーズに応じて柔軟な履修ができるよう、すべて選択科目とします。

同時に、表現文化学科のすべての学生に必須の「読み、考え、書く」能力を実践的・段階的に鍛錬する目的で、必修科目として4年間にわたり少人数クラスの演習科目を設置します。

1. 1年次では、大学での学びと専門教育とへの導入を図り、基礎的な知識・技能を幅広く身につけます。一般的なカレッジスキルの修得をめざす演習科目「表現文化基礎演習Ⅰ」と、三つの学問分野に展開する多様な表現世界の「見取り図」を示し、学生の「選択」への指針・指標を提示する「表現の諸相」をコアとして設定します。

2. 2年次では、専門的研究への橋渡しを図ります。「プレゼミ」と称される「表現文化基礎演習Ⅱ」により、3つの学問分野のいずれかに傾斜して、3～4年次の専門的研究のためのゼミへ導入するとともに、3つの学問分野それぞれの専門的研究への足掛かりを得させる科目を開設します。
3. 3～4年次では、「専門ゼミ」と称される「表現文化演習Ⅰ」（3年次）と「表現文化演習Ⅱ」（4年次）、および「卒業研究」（4年次）を通して、自ら問題を設定する力や問題の解決方法を見いだす力、さらには自己表現能力の、高度の研鑽を図ります。
4. 1～3年次では、幅広い視野に立ったキャリアデザイン力と職業意識を身につけさせるため、資格取得に繋がる科目、および翻訳・編集・広告コピー・映像制作等の多様な表現の技法を修得する演習科目を開設するとともに、3年次には「インターンシップ」を設置します。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

人文学部表現文化学科は、その教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. 表現文化学科で学ぶにあたって基本となる「国語」「外国語」を履修し、それらの基礎的事項を理解している人
2. 物事を論理的にとらえ、判断する能力を備えている人
3. 日本や外国の言語・文学・文化、文章表現・映像表現に対する興味関心を持っている人
4. 国語・英語の教員、日本語教員、図書館司書などの仕事に就きたい人
5. 日本語による正確で論理的な表現技術の基礎を身につけたい人
6. 課外活動を通じて、広範な知識や関心などを養ってきている人

人文学部現代社会学科の3つのポリシー

人文学部現代社会学科では、現代社会の理解と地域社会への貢献を目標に掲げ、社会の変化に対応できる柔軟な思考力と行動力・実践力とを合わせ持つ、地域社会に有為な職業人を育成することを目指しています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

人文学部現代社会学科は、その教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 地域社会の問題を身近なものとして捉え、その解決に積極的に取り組むことができる。
2. 地域の人びととコミュニケーションを図りつつ率先して行動し、課題の実現に向けてたゆまず努力することができる。
3. 社会学理論の基礎知識を修得し、過去から現代までに至る社会問題について自らの見解を形成することができる。
4. 人びとの多様なニーズを理解し、社会や人間に関する幅広い視野からそれを満たすための方向性を示すことができる。
5. 社会調査に関する基礎知識を修得し、それらを地域社会における問題の発見に応用することができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人文学部現代社会学科では、その教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1. 1年次では、地域社会で発生している問題の背景を理解し、分析する方法を学ぶ科目を開設します。加えて、1年次前期の必修科目である「社会学基礎演習」では、少人数クラスにより、「読む、書く、話す、調べる、まとめる」などのリテラシー教育を行い、大学での学習環境への円滑な適応を支援します。
2. 2・3年次では、社会調査に必要な基礎的な知識や技法を身につける科目を設定します。3年次の実習では、質問票調査にグループ単位で取り組み、地域社会の現状把握や問題分析の方法を実践的に修得します。
3. 3・4年次では、実習、インターンシップなどの体験学習を通じて、それまでに学んだ知識や技術の向上を図るとともに、職業人としての意識を涵養します。さらに、各自が得た知識・技術・体験を地域社会にフィードバックする具体的な活動の基礎として、少人数参加型のゼミを設置します。

4. 地域社会への貢献を実践する科目を設置します。災害被災地や豪雪地域をはじめ支援の手を必要とする中山間地域での清掃や除雪などの生活支援活動を通じ、地域支援のあり方についての理解力や行動力の向上を図ります。
5. すべての学生は、4年間の学びの集大成として卒業研究に取り組みます。各自の興味や関心のあるテーマについて、それまで学び、身につけた知識や研究方法を駆使し、学術的な論文として結実するようにゼミ担当教員が丁寧な個別指導を行います。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

人文学部現代社会学科は、その教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. ボランティア活動や実習などの体験型学習を通じ、他者と協力して課題に取り組むことができるコミュニケーション力の習得・向上を目指したい人
2. 福祉に関する専門的な知識や技術を身につけ、誰もが暮らしやすい地域社会の実現に貢献したい人
3. 質問票調査などの社会調査の技法を学び、地域社会の変化をより広い視野から解決したい人
4. 地域社会の問題に関心を持ち、官庁や企業、NPO 法人などで、その解決策の決定に関わる仕事に就きたい人

人文学部心理学科の3つのポリシー

人文学部心理学科では、トータルな人間理解を目標に掲げ、地域社会に貢献できる、人の心のわかる職業人の育成、ならびに臨床心理士をはじめとするより高度な専門職業人教育を受けるに足る、幅広い基礎知識を身につけた人材の育成を目指して、以下のような点に主眼の置いた教育を行います。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

人文学部心理学科は、その教育目標に基づいて、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 人間に対し豊かで幅広い見方ができる。
2. 自然科学的教養と人文科学的教養の両方を身につけている。
3. 科学的手法に基づきデータを収集し分析できる。
4. コミュニケーション能力と共感的理解の能力を身につけている。
5. 自立した社会人としての態度と行動力を身につけている。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人文学部心理学科では、その教育目標を達成するために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

以下のような2段階で、4年間の教育を行います。多様な選択科目を用意し、学生個人の関心やニーズに応じた柔軟な科目履修ができるように配慮します。

1. 1年次では、導入教育として「心理学科基礎演習」を設置し、高校から大学へのスムーズな移行を図ります。また、1・2年次では、各種の「心理学基礎論」「心理学基礎実験」等を通して、心理学の諸分野をバランスよく学びます。
2. 3年次では、3つのコース（認知情報、教育発達、臨床福祉）に分かれ、各コースの専門性に合わせた「心理学演習」や様々な専門科目を学びます。4年次では、自己の選んだテーマに基づいた研究（卒業研究）を行い、4年間の学修をまとめます。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

人文学部心理学科は、その教育目標を達成するために、以下のような人の入学を希望します。

1. 国語と英語を履修し、それらの基礎的事項を理解している人
2. 基本的なコミュニケーション力を身につけている人
3. 人間や社会・文化に対する強い関心を持っている人
4. 思考・意欲の両面で積極的な人
5. 柔軟な発想ができる人
6. 集団の中で自己を活かすことができる人

理工学研究科の3つのポリシー

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

1. び問題解決に向けての指導力を養う。（思考・判断）

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

理工学研究科では、時代と地域社会の要請に対応できる専門的な研究者・技術者を養成するために、「専門基礎科目（必修）」、「専門選択科目」、「特別研究および研究講読」からなる教育課程を体系的に編成している。以下に本研究科の教育課程の概要を示す。

1. 専門基礎科目として、物質理学と物理工学の両専攻共通 6 科目「有機化学特論」、「生化学特論」、「化学計測特論」、「電子物理学特論」、「理数工学特論」、「力学特論」から 2 科目を選択必修として大学院における専門基礎教育を行う。[ディプロマポリシー 1)・2) に対応]
2. 物質理学の専門分野では、「物理化学」、「生命科学」、「物質構造」をキーワードにした専門選択科目を開講する。[ディプロマポリシー 3) に対応]
3. 物理工学の専門分野では、「情報学」、「電子工学」、「機械工学」、「材料工学」をキーワードにした専門分野を開講する。[ディプロマポリシー 4) に対応]
4. 各専攻において、「特別研究 I・II」、「研究講読 I・II」を通して実践的な能力を養い、問題解決能力やコミュニケーション力を身につけさせる。[ディプロマポリシー 5)・6) に対応]
5. 指導教員のもとで大学院生個々の研究テーマに沿った研究分野の調査、研究計画の作成と実施、さらには研究報告・論文作成を行うことで、より深い学識と優れた研究開発能力を身につけさせる。[ディプロマポリシー 5)・6] に対応]

理工学研究科では、時代と地域社会の要請に対応できる研究・技術者の養成を目標に、(1) 専門基礎科目必修科目、(2) 専門選択科目、(3) 特別研究および特別講読からなる教育課程を体系的に編成し提供している。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

理工学研究科のディプロマポリシーを達成するために、以下のアドミッションポリシーを明示している。

1. 本学の教育目標である「和」の精神に基づく全人教育、および地域社会への貢献を十分に理解できる人
2. 理学・工学・生命科学の最先端分野の研究開発に強い関心を持つ人
3. 明確な進学意識を持ち、研究開発に積極的に取り組む意欲のある人
4. 理工学分野、あるいは生命科学分野の高度な専門知識と問題解決力を身につけ、継続してキャリアの向上を目指す社会人

人文学研究科の3つのポリシー

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

1. 認知的領域（知識・理解）
人間におけるさまざまな物事や問題を、各専門分野の方法論を用いて探求し研究できる。
2. 認知的領域（思考・判断）
各専門分野の知識を深めるとともに、幅広い教養を持ち、さまざまな思考の枠組みを用いて、実践的に研究することができる。
3. 精神運動的領域（技能・表現）
実社会のあらゆる場面に対応しうるコミュニケーション能力を持ち、状況に応じた高度の自己表現ができる。
4. 情意的領域（関心・意欲・態度）
自ら問いを立て、それに答えていく研究能力を持ち、積極的に活動できる。
5. 精神運動的領域（技能・表現） 各自の研究成果を、修士学位論文または博士学位論文の形にまとめ上げることができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 認知的領域（知識・理解）
各専門分野の講義・演習・実習科目を設置し、それぞれの分野での知識と研究能力の向上を図る。
2. 精神運動的領域（技能・表現）
 - (1) 演習・実習科目の履修を通して、各専門分野での討論・研究発表能力の向上を図る。
 - (2) 修士課程2年次では、各分野の専門科目を履修し、修了するために必要な所定の単位を修得する。さらに、指導教授の指導の下に修士学位論文を作成する。
 - (3) 博士課程では、各自の研究テーマに基づく博士学位論文の作成という目標を設定し、その達成に向けて自主的・意欲的に研究に取り組めるような指導教員による指導体制を構築する。
3. 情意的領域（意欲・関心・態度）
各専門分野での研究・教育を通して、高度な専門知識を持った職業人および研究者を養成し、地域社会の発展に貢献する。

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

1. 認知的領域（知識・理解）

(1) 修士課程は、日本文学、英米文学、社会学、臨床心理学の各分野での学部教育を基礎として、高度な専門知識や技術を身につけ、社会に貢献したい人

(2) 博士課程は、日本文学に関するより高度な専門知識や技術を身につけ、社会に貢献したい人

2. 情意的領域（関心・意欲・態度）

(1) 日本文学、英米文学、社会学の各分野の専修教員免許状を取得し、教職に就くことを希望する人

(2) 財団法人日本臨床心理士資格認定協会の認定する「臨床心理士」受験資格の取得を希望する人

(3) 博士（日本文学）の学位を取得し、専門的な教育・研究を行うことを希望する人

2. 平成 28 年度巻頭 TOPICS

■学長メッセージ



いわき明星大学は 1987 年いわき市からの誘致をうけて学校法人「明星学苑」が開学し、明星学苑の校訓である「健康・真面目・努力」に基づいて、地域に貢献する大学として教育研究を行うことを使命・目標としてきました。本学は 人文社会科学系、理工学系、生命科学系、薬学系の教員が揃い、この点を活用した多様性に富んだ 肌理の細かい教育によって、地域に貢献できる人材の養成を行っています。

2015 年 4 月から、本学は、教養学部と薬学部の 2 学部による新たな体制の大学として生まれ変わりました。教養学部は、人文学部を改組転換し、地域の求める要望や需要にさらに適合した学部組織・教育課程と成るべく 2015 年に開設された学部です。また 2007 年に発足した薬学部は今春 4 回目の卒業生を送り出しました。薬剤師国家試験合格率は全国的にみても高い水準にあり、初年次からの一貫した本学独自の薬学教育の成果が表れています。

また 2015 年 9 月には、法人機能の即応性、即時性を高めるために新学校法人「いわき明星大学」の設置する大学へ移行いたしました。今後とも「明星学苑」との提携は保たれますが、文字通りいわき市に根ざした大学として地域の高等教育・研究機関として人材養成に努力してまいります。

あまり耳慣れない言葉かもしれませんが、グローカリゼーションという言葉があります。この言葉はグローバル化（世界普遍化）と地域の特色や特性を考慮するローカリゼーション（地域限定化）の二つの単語を組み合わせたものです。本学では、地域の要請に応え得る人材として、グローバルな視点や考え方を身につけて、それを地域に活用、還元できる「グローバルな人材」の養成をめざしています。

「グローバルな人材」の養成こそが新しい教養学部設置の精神であり、教育方針です。学科名称もその教育内容にふさわしい地域教養学科となっています。薬学部も同じく、地域に貢献できるくすりの専門家を引き続いて育てていきます。さらに 2017 年 4 月には、新学部として看護学部が開設されます。看護学部は、高度な看護力を備えた実践力のある看護師の養成を目標とし、本学独自のカリキュラムに基づいて教育を行います。そして既設の薬学部と協同して地域における医療人養成の一翼を担ってまいります。

これ等の人材養成、本学では地域基盤型職業人と呼んでいますが、地域基盤型職業人養成の目的を達成するため、教職員は本学入学をめざす皆さんの強力なサポーターであるとともに良きパートナーとして力を尽くしたいと思っています。

教育とは学生や生徒が好ましい変化をうけることができる邂逅（めぐりあい）でなければなりません。好ましい変化とは、個々によっても異なり一口で表すことは難しいものですが、少なくとも、入学される皆さんが、いわき明星大学で学んだことによってそれぞれの夢や希望がかなえられ、社会人として自立できるものと信じています。

いわき明星大学 学長 医学博士 山崎 洋次

■学校法人いわき明星大学設立

平成 27 年 8 月、いわき明星大学は今後もいわき市において地域に貢献する大学として継続していくために、学校法人明星学苑（東京都日野市）から分離・新設する形で「学校法人いわき明星大学」を設立し、平成 28 年 4 月 1 日からいわき明星大学の設置者を学校法人いわき明星大学へ変更しました。

新学校法人設立・設置者変更にあたっては、現行の学部学科や教育研究体制及び教育課程等の教育研究内容等、あるいは学費等の変更は一切行わず、現在大学に在籍又は入学する学生の方々並びに保護者の方々においてもこの設置者変更によって不利益が生じることは一切ないようにし、法人本部を大学内に設置し、大学の自立性と地域性を高め、経営と教学とがより密接に協働して効果的に作用することができる体制としました。

新学校法人設立に係る沿革

○平成 26 年 12 月 19 日

平成 26 年度第 8 回学校法人明星学苑理事会において、いわき明星大学の設置者変更に係る学校法人分離・新設の基本方針及び基本計画が決議された。

これに伴い、学校法人明星学苑から独立した任意団体として、小川哲生副理事長を委員長、山崎洋次いわき明星大学学長を副委員長とする学校法人いわき明星大学設立準備委員会が組織され、当該新法人の寄附行為認可申請を本委員会が行うこととした。

○平成 27 年 1 月 23 日、2 月 27 日、3 月 20 日に学校法人いわき明星大学設立準備委員会が開催され、以下の事項を決定した。

- ①学校法人いわき明星大学設立準備委員会規約
- ②委員会の委員及び顧問並びに委員会事務局
- ③学校法人の名称
- ④新法人設立計画策定の重要事項、スケジュール、申請業務内容
- ⑤学校法人いわき明星大学設立趣意書
- ⑥学校法人いわき明星大学寄附行為
- ⑦学校法人いわき明星大学役員
- ⑧学校法人いわき明星大学理事長（小川委員長を選任）
- ⑨学校法人いわき明星大学設立決議

○平成 27 年 3 月末

「学校法人いわき明星大学寄附行為認可申請書」を、文部科学省へ提出

○平成 27 年 8 月 30 日

学校法人いわき明星大学寄附行為認可

○平成 27 年 9 月 11 日

学校法人いわき明星大学法人登記

○平成 28 年 4 月 1 日

いわき明星大学の設置者を学校法人いわき明星大学へ変更

■看護学部設置認可申請

平成 29 年 4 月の開設を目指し、平成 26 年 10 月に看護学部の設置計画を発表し、平成 28 年 3 月に看護学部の設置認可を文部科学省に申請し、平成 28 年 10 月に設置認可され、平成 29 年 4 月から看護学部を開設することとなりました。

平成 23 年の東日本大震災ならびに福島第一原子力発電所事故以前から、本学にはいわき市関係者をはじめ多くの方々から医療系、特に看護系の学部設置が強く要望されていました。このような状況を鑑み、本学では、教養学部と薬学部による地域社会への人材輩出による貢献の他に、地域からのご要望の強い看護学部を設置して、看護師という地域医療の担い手となる人材を養成することで、更なる地域貢献を推進していくこととしました。

本学において看護学部を設置することは、薬学部で培ってきた医療教育資源を有効に活用することで、看護学部においても高度な専門知識をもち、かつ医療の担い手として適切・迅速に対応できる広い教養と基礎学力、そして問題解決能力のある看護師を養成することが可能となり、また、薬学部との連携によって、看護学部と薬学部のシナジー効果が期待され、教育の質の向上と効率化につながることができます。加えて教養学部の教育との連携によって、三学部が三位一体となって地域のための医療人の育成を行います。

看護学部関係の施設は、6 号館北棟を改修し、90 人を収容する講義室 2 室のほか、それぞれの看護の領域の実習室 4 室、カンファレンス室 6 室、学部長室、学部事務室、男女ロッカー一室等を整備しました。

教員組織は、30 名の教授、准教授、講師、助教合計 30 名体制となっており、各領域において教育や研究の実績のある教員を配置しました。

学内での実習のほか、市内 9 病院、23 施設、市外の 1 病院、2 施設を実習施設として隣地実習を実施します。

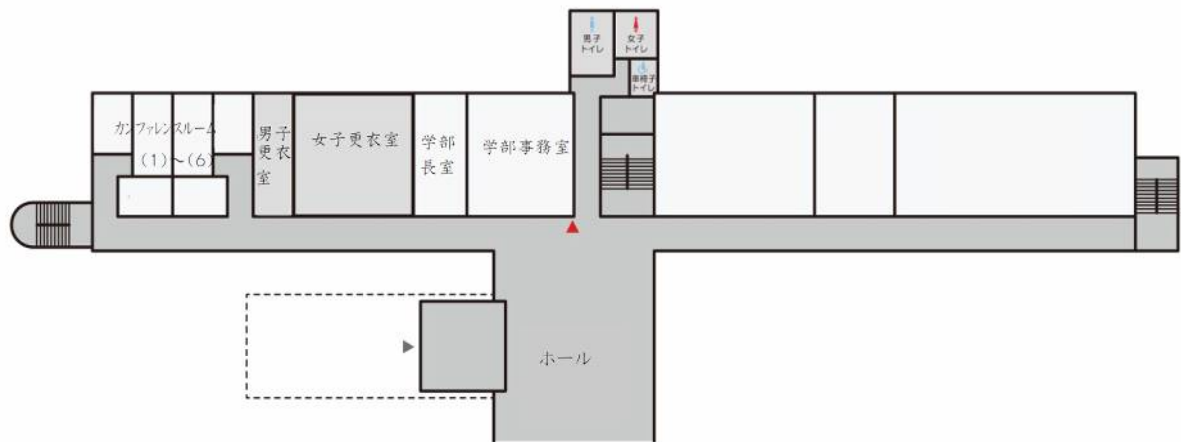
本学看護学部では、看護師の養成に加えて、保健福祉活動や保健予防活動を通じて地域社会の保健医療福祉の向上に寄与することのできる保健師も養成します。具体的には、健康課題を生活者の視点でとらえ、いわき市保健所や地域包括支援センター、県設置の保健所、周辺自治体での多職種連携を通じて展開される保健活動について理解し、地域で生活している個人・家族・集団・地域を対象とした健康の維持・増進活動を展開することのできる人材を養成します。

■6号館（看護学部実習施設）改修工事完了

4月開設の看護学部の拠点となる6号館の内覧会を、3月20日（月・祝）に開催。最新の機器を備えた実習施設や整備された講義室などを公開しました。

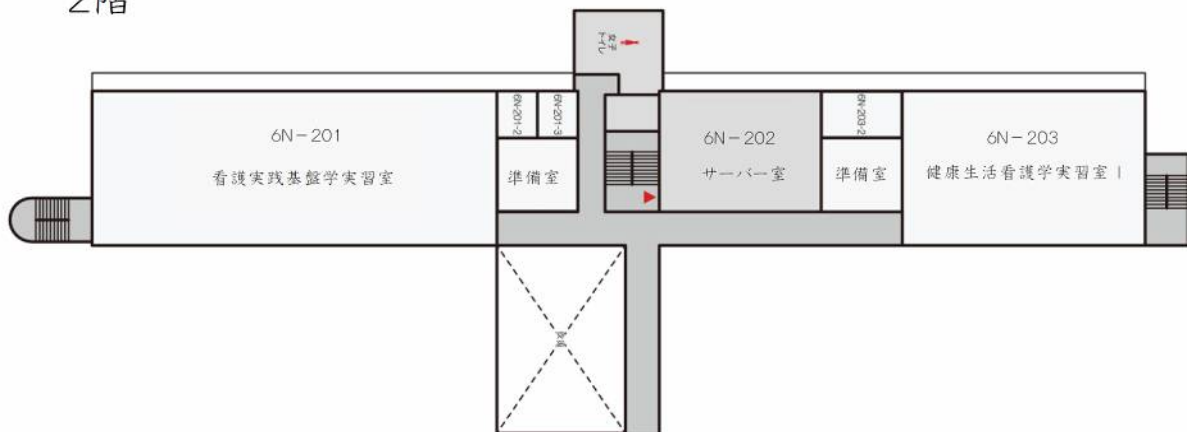
6号館改修工事(看護学部建築工事)
 工期:平成28年4月～12月
 工事面積:2808㎡

1階



<p><u>カンファレンスルーム(1)～(6)</u> 実習後の学生との面談室</p>	
<p><u>女子更衣室・男子更衣室</u></p>	
<p><u>学部事務室</u></p>	

2階



6N-201 看護実践基盤学実習室

この実習室は、1年後期から開講する看護実践基盤学(コミュニケーション、アセスメント技術、生活援助技術他)と成人看護学で学修した看護技術の演習を行います。カーテンで個室と想定したうえで、病室に入室し、挨拶、自己紹介から展開する現場に則した技術を演習します。2~4ベッドに1名の教員が担当し、学生の相談や対話を重視しながら指導を行います(手洗い、ガウンテクニック、病床整備とベッドメイキング、清潔・更衣・食事・移動の援助、多様な排泄支援などです)。

部屋の奥には個室を設置し、コンピュータ・シミュレーション室として入室から実際の看護技術、その評価と後片付けまでをビデオで録画、評価と支援を行う設備もあります。



6N-203 健康生活看護学実習室 I

この実習室は、主に「健康生活看護学(母性援助)」「健康生活看護学(小児援助)」の演習にて使用します。

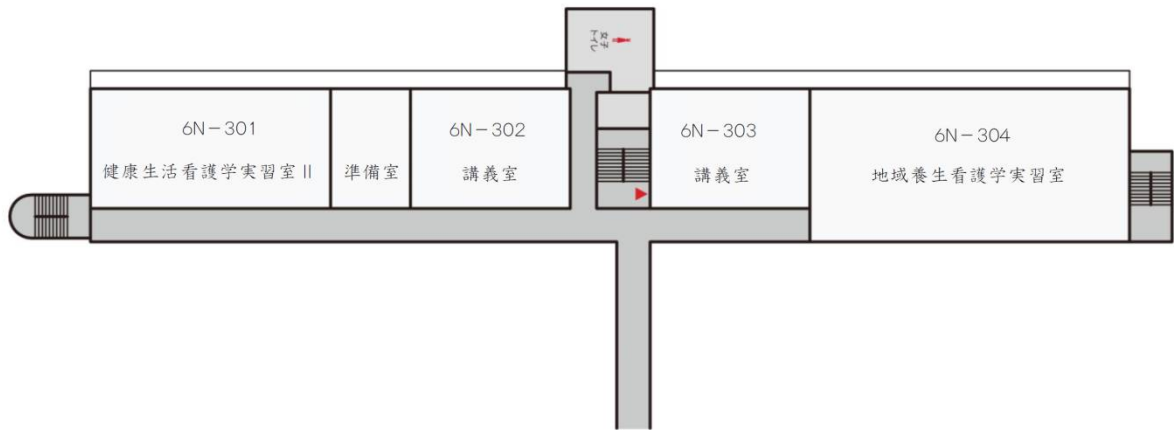
壁一面の「鏡」は、女性の健康のために必要なエクササイズの学習や妊産褥婦の正しい姿勢を理解する演習にて使用します。

新生児の沐浴を学習するための「沐浴槽」を10台設置し、同時に複数の学生が沐浴を練習することが可能です。また、天井から「鏡」を設置することにより沐浴手技を確認しやすく、効果的な演習や自己学習ができるよう工夫しました。

母性援助、小児援助技術に必要なシミュレーション学習のための「シミュレーター」も設置しており、効果的な学習を行うことができます。

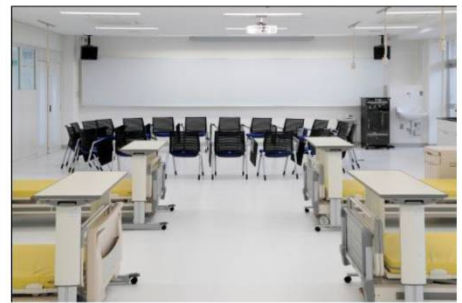


3階



6N-301 健康生活看護学実習室II

この実習室は、小グループでの演習およびその学修内容についてのディスカッションなどをする際に使います。2階の看護実践基盤学実習室との併用もできます。



6N-302・303 講義室

ここでは、主として看護学の授業を行います。

収容人数 90席

映像・音響設備設置



6N-304 地域養生看護学実習室

この実習室は、健康生活看護学（老年援助）、地域養生看護学（在宅援助）の演習や実習に使用します。

部屋は手前側と奥側に別れ、手前側の部屋(上写真)は主に講義で使用し、ホワイトボード、AV機器、椅子、テーブルが設置されています。奥側の部屋(下写真)は、地域や在宅における高齢者や障がいをお持ちの方の住宅環境が想定されて、シミュレーションのできるよう設計されています。

加齢や障がいに伴う能力では多くの困難の生ずることから、親しみやなじみのある環境を再現した畳の部屋や、使いやすさを重視することによる精神的な安定を図る目的があります。和室、トイレ、浴室、キッチン、洗面台などの住宅環境がリアルに再現されることで、生活の実際場面でのさまざまな在宅ケアを学びます。



■看護学部開設記念講演会を開催

2017年4月に開設する看護学部の開設記念講演会を12月3日（土）、いわきワシントンホテル 椿山荘で開催しました。

講師にナグモクリニック総院長の南雲吉則氏をお招きし、「がん死亡率を半減させる『命の食事』」と題してご講演いただきました。

日本乳癌学会専門医でもある南雲先生は、体内でがんが発生するメカニズムとその大きな原因のひとつである食生活の改善方法について具体的に分かりやすく説明されました。参加者は南雲先生がときおり交えるユーモアに笑いを誘われながら、ときおり強くうなずいたり、しっかりメモをとったりし、自分自身の食生活を見直しているようでした。



本学は、医療系の学部を設置している大学として、今後もより一層、地域の皆さまの健康サポートに貢献する取り組みを実施して参ります。

■いわき明星大学 ユニバーサルデザインセンター（UDセンター）

UDセンターは2016年4月1日より新設されました。本学に在籍している障害のある学生が充実した学生生活を送るために、修学支援や自立支援を行うための相談窓口となっています。

また、学習環境へアクセスするために必要な環境調整・整備を行い、「全ての人が利用できる」学びの場を目指します。

○学生支援方針

いわき明星大学は、本学の教育目標のもと、障害のある学生の自立支援を行うことに伴い、誰もが安心して修学および学生生活を送ることができるよう合理的配慮の提供を行います。さらに、大学のユニバーサルデザイン化に向けた取組を全学的に推進します。

○ガイドライン

修学支援については、障害の有無に関わらずすべての学生に修学の機会を等しく提供することを目的とし、学生が学修を円滑に進め、継続していくことができるよう努めます。さらに障害のある学生に対して、自己決定ができるよう自立につながる支援体制を整備し、修学に困難が生じないよう具体的な方策を講じます。

学生生活支援については、すべての学生が心身ともに健康で、かつ安定した学生生活をともに送れるよう必要な基盤を整備します。さらに障害のある学生への支援は、学生のニーズに合わせた個別的な対応を講ずるなど支援体制の整備を行います。

○UD センターの支援内容

実施されている支援

- * 使用教室の配慮
- * 座席位置の配慮
- * 講義形態の変更（特別授業への変更（健康・スポーツ 1, 2））
- * 情報保障のための配慮（板書等の撮影、講義内容の録音）
- * 学内・学外実習に伴う配慮（作業量の軽減、作業内容の検討）
- * 受診に伴う報告書作成、教員への連絡
- * 補助器具（ルーペ・補聴器・その他）の使用
- * 障害の特性を把握した具体的な指示やグループワーク参加への促し
- * 休憩場所の確保等

その他必要な支援については、その都度相談し、支援方法を決定しております。

○環境作り・啓発活動

適切な環境作り、学内教職員に対する障害のある学生への理解と啓発活動、支援協力学生の要請に努めます。

■薬剤師国家試験結果 合格率 2 年連続全国 1 位！

第 102 回薬剤師国家試験においては、全国平均合格率 71.58%（13,243 名受験：9479 名合格）に対し、本学の合格率は 96.72%（61 名受験：59 名合格）で、全国（国・公・私立）73 校中 2 年連続の 1 位でした。この結果、本学出身の薬剤師は 258 名となりました。

■本学吹奏楽団が「全日本吹奏楽コンクール」（全国大会）に初出場

10 月 29 日、30 日の 2 日間、石川県金沢市の「歌劇座」で開催された全日本吹奏楽コンクール（全国大会）に、本学吹奏楽団が設立 4 年目・大会出場 3 年目で、初の東北代表として出場しました。

コンクールには全国各ブロックを勝ち抜いた 13 大学が出場し、その演奏技術を競い、本学は出場団体中 37 名と最も少ない人数ながらも、課題曲Ⅰ：マーチ・スカイブルー・ドリーム、自由曲：シャコンヌ「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第二番二短調 BWV. 1004 より」の 2 曲を見事に演奏し、会場から多くの拍手をいただきました。審査結果は“銅賞”でしたが、新聞各社、業界誌、TV局から数多くの取材を受けました。



■東邦銀行との連携協力協定を締結しました

株式会社東邦銀行との連携協力協定を平成 29 年 2 月 21 日に締結しました。大学と銀行がそれぞれ保有する研究シーズ、金融技術や情報、産業振興等を行うことにより産学連携を推進し、地域社会の発展および人材の育成に貢献することを目的としています。具体的な協力項目は次の通りです。

協定項目

- (1) 被災地における支援策等に関する情報交換及び支援
- (2) いわき明星大学発ベンチャーに関する情報交換及び支援
- (3) 地方創生、産業振興等の地域課題に関する情報交換及び支援
- (4) 人材交流及びインターンシップの実施
- (5) その他本協定の目的を達成するために必要な事業



3. 地域連携活動

■地域連携センターの設立

いわき明星大学地域連携センターは本学の地域連携活動を推進し、その成果を地域に発信することを目的として平成 28 年 4 月 1 日に設立されました。

本学には地域と深く関わる複数の組織がありました。地域の産学官民の連携の促進、最新技術の擁立、総合大学としての活性化を図るために平成 15 年に設立された「産学連携研究センター」と、東日本大震災からの復興活動の拠点として平成 23 年 9 月から活動してきた「復興事業センター」、そして地域連携の窓口として組織された「地域交流室」の 3 部署です。それらを融合し、地域ニーズに一元的に対応することで、より地域に根ざした大学として地域の発展に寄与するよう組織されたものです。

主な活動は次の通りです。

- (1) 地域の企業、高等学校、行政等による人材育成ネットワーク「地域連携協議会」の運営
- (2) 企業等との共同研究におけるコーディネート
- (3) 公開講座、出前講座、生涯学習に関する企画の運営
- (4) 大学施設の貸出、大学見学等の受け入れ
- (5) 復興関連事業、その他地域連携に関わる内容

■地域連携協議会の活動・成果

○新入社員合同研修を実施

平成 27 年度に発足した「いわき明星大学地域連携協議会」の活動のひとつとして、平成 28 年 4 月 5 日、6 日の 2 日間、新入社員合同研修を実施しました。これは、地域企業の新入社員の方々を対象とした合同研修で、各企業で行う新人研修の負担を軽減するとともに、大学の持つ教育資源を地域に還元するための企画として行ったものです。

研修には 11 企業から 26 名の新社会人が参加し、体験型学習を基本としたビジネスマナーの習得や組織行動への意識づけを行いました。企業の枠を超えた受講生同士の交流は、研修の効果を大きく促進させることができ、次代を担う人材育成に寄与することが出来ました。

○地域連携協議会総会を開催

いわき明星大学地域連携協議会の総会を平成 28 年 6 月 28 日に開催しました。当協議会は、産官学連携による人材育成の強化と、高校生や保護者への進路アドバイスを行うことを目的に平成 27 年度に発足したものです。

開式に先立ち、協議会の発起人でいあり参与の清水敏男いわき市長が挨拶で「大学にはこれまでも地域に優秀な人材を送り出していただきましたが、今後もさらに地域活性化に結びつく人材養成を続けていただきたい」と、協議会と本学への期待を熱く語りました。

会は、事業報告や今年度の計画等について採決が行われたほか、本学教養学部の大島淳俊教授による「クールジャパンを梃子とした地方企業の挑戦」と題した講演を開講。本学および企業・高等学校の皆さまとの情報交換が行われました。

○いわき市「まち・ひと・しごと」創生推進事業の成果を発表

いわき市と市内高等教育機関による連携協力事業「大学等と地域が連携した「まち・ひと・しごと」創生推進事業」の成果発表会が平成 29 年 3 月 4 日、いわき市生涯学習プラザにて開催されました。

本学の事業は「地域連携 PBL による“まち・ひと・しごと”活性化」。PBL とは、Problem (Project) Based Learning の略で「問題解決型授業」と呼ばれている授業形態です。9 月から教養学部 2 年生の授業の一環としていわき市内のいくつかの問題・課題を抽出し、それらを解決する具体的方策を学生たちによって調査、検討、実施しました。

課題としたテーマは (1) いわき湯本温泉の活性化 (2) 磐城平城本丸跡地の活用方法 (3) いわき駅前商店街の活性化 (4) 石炭・化石館「ほるる」の魅力再発見 (5) ブライダル企業の営業企画を考えるの 5 つ。これら多様な地域課題を解決する案が、学生たちの柔軟な発想によって生み出され、事業の成果としていわき市に提案しました。

報告会にはプロジェクトに関わった本学学生らも参加し、他大学等の報告に対して活発な質疑を行うなど、交流を深める様子が見られました。

○新たな公開講座「生涯学修アカデミー」開講

新たな生涯学習の機会提供として、毎年春季と秋季に開催していた公開講座をリニューアルし、春季は従来実施してきた単発講義形式の「地域公開講座」、秋季はテーマを深掘りする連続型の講義を行う「生涯学習アカデミー」として開講しました。

日本近代文学コース、薬学コース、福祉コース、語学コースの 4 コースを準備し、それぞれ 4 回～6 回の講義を実施。延べ受講者数は 450 人を数え、教養を深める機会として受講者の皆さまから高い評価を受けました。

また、生涯学修アカデミー開設記念講座として、吹奏楽愛好者を対象とした「プラスジャンボリー in いわき明星大学」も開催。200 人以上による大合奏を響かせました。

○「地域公開講座」を開講

開学以来毎年開講している公開講座を「地域公開講座」として 6 月 11 日、18 日、25 日の 3 日間開講しました。

今年度は教養学部創設一周年記念講座と銘打ち、特別講師として早稲田大学国際教養学部の森川友義教授による「教養としての『恋愛学入門』」からスタートし、本学教養学部の大原貴宏准教授による「『教養』とは何か？心理学から見た教養」、同じく教養学部の松本麻子准教授による「豊臣秀吉は『教養人』！？」の 3 タイトルを開講。幅広い視点から教養について考える講座を展開しました。

■各種講座

▼「平成28年度実績」

■復興関連事業

いわき明星大学では、東日本大震災の発生以降、いち早く震災記録の収集・保存活動を続けてきました。いわき市でも震災の記録を後世に伝える学習施設を建設する事業が予定されていますが、本学が行ってきた活動の実績やノウハウを活かすため、いわき市の委託事業として震災メモリアルに関する事業を受託いたしました。

平成28年度は市内に残存する震災記録の有無、展示協力の可能性について調査しつつ、アーカイブの充実を図る活動を行いました。いわき市では平成31年度、津波被害の大きかった豊間地区に「震災メモリアル拠点（仮称）」を建設する準備を進めており、展示・収蔵する資料の調査・収集を平成30年度まで本学が担う計画です。

また、震災に連動して発生した福島第一原子力発電所事故の影響による放射線の影響を調べる事業を、平成23年4月から続けています。平成28年度からはいわき市と連携し、市が実施する食品等の放射線測定事業「自家消費作物等の放射能簡易検査所」として環境放射線測定室を開設し、事業を継続しています。

基本コンセプト

◆ 教育目標・目指す成果

浜通り地域を中心に活動する中核的職業人育成のために、本連携プログラムを通じて、受講生の価値向上を目指す。

- ① 浜通り地域における課題に対しての積極的な関与を通じ、地域に対する問題意識を醸成する。
- ② 浜通り地域の発展・振興を検討することを通じて、地域愛を育む。
- ③ 自分自身が職業人として浜通り地域で活動するビジョン形成のきっかけを提供する。

<取り組み手法>

- ◆日時 6月23日、7月14日、7月21日 (3回講座、詳細は後述)
- ◆時間 16時～18時15分 ※最終回は13時30分～15時30分
- ◆対象 ふたば未来学園高校の生徒・いわき明星大学の学生 (高校生4名 + 大学1名の混成グループを想定)
- ◆手法 アクティブラーニングをベースとしての研究発表
- ◆会場 ふたば未来学園高校
- ※協力 地元旅行会社 (仮)



第1回プログラム案

【テーマ】「遊びに来てもらえる浜通り」 (ツアー企画検討ワーク)

【第1回】キックオフ&ツアーコンセプト作り (約135分) (1) チームビルディング (2) ミッション共有 (3) コンセプト検討

- ① 高大混成グループの編成 (45分)
 - ・アイスブレイク (教員紹介 + 自己紹介 + グループワーク)
- ② 授業目的理解 (15分)
 - ・自分たちの「街」の魅力・活力を考える
 - ・テーマの理解 (成果物、ツアーの泊数等の条件提示を含む)
 - ・「自ら一歩」の姿勢修得
- ③ ツアーのコンセプト検討 (20分)
 - ・ターゲットを提示し、選んだ人たちに対するツアーコンセプトを考える
例：東京の若者、外国人、地方暮らしをしたい都市部居住者、その他 (自由：こんな人に来て欲しい)
- ④ 浜通りの魅力抽出 (何があれば浜通りに来てもらえるか?) (45分)
 - ・KJ法 ⇒ 魅力度 × 実現性のマトリックス? 模造紙発表? FB
 - ・「食」、「自然」、「温泉」、「婚活」、「学び」、「歴史・芸術」、「各種体験」など
- ⑤ まとめ・宿題の説明 (10分)
 - ・ターゲット、コンセプトを記入したパワポの作成 (7月7日締切)

※第1回目の事前ワークとして、浜通りのおすすめスポットや名物等を考えてくる



第2回プログラム案

【テーマ】「遊びに来てもらえる浜通り」 (ツアー企画検討ワーク)

【第2回】第1回プレゼン&ツアー企画 (約135分)

- ・前回までの振り返り
- ・プレゼン準備
- ・第1回プレゼンテーション
- ・企画内容のブラッシュアップ

- ①グループワーク (30分)
 - ・前回までの振り返り
 - ・パワポの修正&プレゼンの準備
- ②第1回プレゼン (50分)
 - ・5分×4グループの発表
 - ・内容に対するFBと改善点アドバイス
 - ・現時点での投票
- ③グループワーク (40分)
 - ・ターゲット、アプローチ等の明確化、改善案の検討
 - ・模造紙の作成開始 ※フォーマットは運営側で用意
- ④本日のまとめ&宿題 (15分)
 - ・模造紙の完成版を次週までに作成



第3回プログラム案

【テーマ】「遊びに来てもらえる浜通り」 (ツアー企画検討ワーク)

【第3回】ツアー企画の最終プレゼン (約120分)

- ・模造紙の最終調整
- ・プレゼン準備
- ・最終プレゼンテーション
- ・投票&講評

- ①グループワーク (30分)
 - ・模造紙のブラッシュアップ
 - ・プレゼンの準備
- ②最終プレゼン (30分)
 - ・5分×4グループの発表
- ③投票&講評 (30分)
 - ・優勝グループの決定、各グループへの講評
- ⑤振り返り (20分)
 - ・グループで良かった点&改善点の共有、リフレクションシート
- ④プロジェクトのまとめ (10分)
 - ・学生&教職員からの感想
 - ・プロジェクトまとめ



ふたば未来学園高校様へのご協力依頼

ご協力をお願いさせていただきたいこと

- ① 学生のプロジェクト進捗管理
→ 特に第1回～第2回の内容チェックが重要となります
- ② 活動場所の確保
→ 放課後、学生がグループワークを行う場所の確保
- ③ 最終発表（7月21日）の教職員の参加
→ ご出席者に投票をして貰えればと思います



■「看護師実習指導者講習会」開催

病院等の医療機関において、看護師を目指す実習生を指導する人材を養成する、実習指導者講習会を開催しました。この講習会は厚生労働省により内容・時間数が定められており、本学は講習会を実施できる機関として認定されています。

講習会の実施概要は次の通りです。

開催期間 平成28年9月10日～12月21日（毎週火曜、水曜、土曜に講習を実施）

受講者数 17名（全員修了、所属施設数 9）

講習科目、担当教員、講習時間（別紙1）

時間割（別紙2）

（別紙1）

平成28年度 いわき明星大学 看護師実習指導者講習会 授業科目及び時間数・科目のねらい

区分	指定科目 (時間数)	実施科目	実施 時間数	講師	目標及び内容
教育及び看護に関する科目	教育原理 (6時間)	教育原理	6時間	石川	教育の意義や基礎的な概念について学ぶ 1) 教育とは何か 2) 学校とは何か 3) よりよく学ばせ、教えるために 4) 教師とは何か
	教育心理 (18時間)	教育心理	18時間	名取	人間の発達と教育課程における心理的な特徴について青年期を中心に学ぶ 1) 学びの理論 2) 学びの意欲、仕組み、諸相 3) 自立と社会性の学び 4) その他
	教育方法 (30時間)	教育方法	30時間	石川	教育の基本的な方法や技術についての理解を深める 1) 教育方法の概要 2) 授業設計 3) 教材研究 4) カウンセリング 5) 論理的思考、論文の書き方
	教育評価 (6時間)	教育評価	6時間	石川	教育評価の意義と目的について理解する 1) 教育評価の意義、目的 2) 教育評価の方法と基準 3) その他
	看護論 (18時間)	看護論	18時間	山邊	看護の考え方を多角的に学び看護についての視野を広げる 1) 看護の概念 2) 看護の機能と役割 3) その他
	看護教育課程 (30時間)	看護教育課程	30時間	久米木部	看護師等の教育課程についてその概要と看護課程の展開を学び、実習指導に活かす 1) 看護教育課程（指定規則など） 2) 教育計画とその内容 3) 実習指導計画 4) その他看護過程（事例を含む） 5) その他

区分	指定科目 (時間数)	実施科目	実施 時間数	講師	目標及び内容
実習指導に関する科目	実習指導の原理 (15時間)	実習指導の原理 (実習の意義) (実習指導者の役割) (実習指導方法)	15時間	古地	実習指導の在り方について学ぶ 1) 実習の意義と目的 2) 実習指導者の役割 3) 実習指導の展開方法 4) その他
	実習指導の評価 (15時間)	実習指導の評価	15時間	古地	実習における評価の意義や方法を学ぶ 1) 実習評価の意義 2) 実習評価の方法 3) 実習指導における評価の在り方
	実習指導の実際 (60時間)	実習指導の実際 (指導案の作成と 実習指導の展開) 実習指導の実際(実習 指導演習・全体発表・ 評価)	21時間 39時間	太内 瀬戸 丸山	実習指導の展開について理解を深め、 演習をとおして実際に学ぶ 1) 実習指導案作成演習 2) 各論の展開方法 3) 実習指導の評価 実習指導の在り方について演習を通して 学ぶ 1) 臨床実習指導の展開 2) 臨床実習指導の展開と評価、発表 3) 実習指導案の修正 4) 実習指導の意義(まとめ)
通信教育	2年課程通信制 に関する科目 (21時間)	看護師2年課程通信制 に関する科目	21時間	鈴木	看護師2年課程通信制教育の基本的な 考え方とその特徴を学ぶ 1) 通信制の目的・意義 2) 通信制の特徴・考え方・運営の基本 3) 学生到達度の把握方法 4) 実習指導の方法、考え方、留意点
その他	看護倫理	看護倫理	4.5時間	久米	看護倫理を理解し、臨床実習指導者としての 倫理観を学ぶ 1) 看護倫理とは 2) 倫理的問題とその対応
	看護研究の基礎 文献検索	看護研究の基礎と文 献検索 (保健統計含む)	12時間	山邊 木村	看護研究の基礎を学ぶ 1) 研究とは何か 2) 研究デザイン 3) 文献検索の基礎 4) 文献検索の実際
	特別講義 (21時間)	特別講義	4.5時間	久米	効果的な実習指導ー臨床と教育現場の 連携ー 1) 臨床と教育現場の連携、臨床実習場 の特性 2) 臨床実習の現状と課題 3) 効果的な指導とは
総時間数(240時間)			240時間		

看護師実習指導者講習会 平成28年度 時間割

水・土曜日：1時限 9：00～10：30・2時限 10：40～12：10・3時限 13：00～14：30・4時限 14：40～16：10・5時限 16：20～17：50
火 曜 日：6時限 18：00～19：30・7時限 19：40～21：10

*空き時間は予備（休講等の振り替えを含む）

授業日/時間	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
9月10日(土)	開式						
9月13日(火)			教育原理1(石川) 【教育原理1】	看護教育概観1(久米) 【21歳大学生から77歳まで】	看護教育概観2(久米) 【21歳大学生から77歳まで】	教育原理2(石川) 【教育原理2】	教育原理3(石川) 【教育原理3】
9月14日(水)	実習指導の原理1(吉地) 【実習指導の原理1】	実習指導の原理2(吉地) 【実習指導の原理2】	教育原理4(石川) 【教育原理4】	教育方法1(石川) 【教育方法1】	教育方法2(石川) 【教育方法2】		
9月17日(土)	看護教育概観5(木部) 【看護教育概観5】	看護教育概観6(木部) 【看護教育概観6】	看護教育概観7(木部) 【看護教育概観7】	看護教育概観8(木部) 【看護教育概観8】	看護教育概観9(木部) 【看護教育概観9】		
9月20日(火)						教育心理1(名取) 【教育心理1】	教育心理2(名取) 【教育心理2】
9月21日(水)	実習指導の原理3(吉地) 【実習指導の原理3】	実習指導の原理4(吉地) 【実習指導の原理4】	実習指導の原理5(吉地) 【実習指導の原理5】	実習指導の原理6(吉地) 【実習指導の原理6】	教育方法3(石川) 【教育方法3】		
9月24日(土)	教育方法4(石川) 【教育方法4】	教育方法5(石川) 【教育方法5】	教育方法6(石川) 【教育方法6】	教育方法7(石川) 【教育方法7】	教育方法8(石川) 【教育方法8】		
9月27日(火)	教育心理3(名取) 【教育心理3】	教育心理4(名取) 【教育心理4】					
9月28日(水)	実習指導の原理7(吉地) 【実習指導の原理7】	実習指導の原理8(吉地) 【実習指導の原理8】	看護教育概観10(木部) 【看護教育概観10】	看護教育概観11(木部) 【看護教育概観11】	看護教育概観12(木部) 【看護教育概観12】		
10月1日(土)	教育方法9(石川) 【教育方法9】	教育心理5(名取) 【学習集団の理解と集団指導1】	教育心理6(名取) 【学習集団の理解と集団指導2】	教育心理7(名取) 【学習集団の理解と集団指導3】	教育心理8(名取) 【学習集団の理解と集団指導4】		
10月4日(火)						教育心理9(名取) 【実用場面での理解と集団指導5】	教育心理10(名取) 【実用場面での理解と集団指導6】
10月5日(水)	実習指導の原理9(吉地) 【実習指導の原理9】	実習指導の原理10(吉地) 【実習指導の原理10】	看護教育概観13(木部) 【看護教育概観13】	教育心理11(名取) 【学習集団の理解と集団指導7】	教育心理12(名取) 【学習集団の理解と集団指導8】		
10月8日(土)	教育方法10(石川) 【教育方法10】	教育方法11(石川) 【教育方法11】	教育方法12(石川) 【教育方法12】	教育方法13(石川) 【教育方法13】	教育方法14(石川) 【教育方法14】		
10月11日(火)						看護教育概観14(木部) 【看護教育概観14】	看護教育概観15(木部) 【看護教育概観15】
10月12日(水)	年内修業のための一斉休講						
10月15日(土)	看護教育概観16(木部) 【看護教育概観16】	看護教育概観17(木部) 【看護教育概観17】	看護教育概観18(木部) 【看護教育概観18】	看護教育概観19(木部) 【看護教育概観19】	看護教育概観20(木部) 【看護教育概観20】		
10月18日(火)						実習指導の実際1(大内) 【実習指導の実際1】	実習指導の実際2(大内) 【実習指導の実際2】
10月19日(水)	看護論1(山越) 【看護論1】	看護論2(山越) 【看護論2】	看護論3(山越) 【看護論3】	看護論4(山越) 【看護論4】	看護論5(山越) 【看護論5】		
10月22日(土)	実習指導の実際3(大内) 【実習指導の実際3】	実習指導の実際4(大内) 【実習指導の実際4】	実習指導の実際5(大内) 【実習指導の実際5】	実習指導の実際6(大内) 【実習指導の実際6】	実習指導の実際7(大内) 【実習指導の実際7】		
10月25日(火)						実習指導の実際8(大内) 【実習指導の実際8】	実習指導の実際9(大内) 【実習指導の実際9】
10月26日(水)	実習指導の実際10(大内) 【実習指導の実際10】	実習指導の実際11(大内) 【実習指導の実際11】	実習指導の実際12(大内) 【実習指導の実際12】	実習指導の実際13(大内) 【実習指導の実際13】	実習指導の実際14(大内) 【実習指導の実際14】		
10月29日(土)	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】		
11月1日(火)						実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】
11月2日(水)	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	教育方法15(石川) 【「おもしろ」の仮説と実際1】	教育方法16(石川) 【「おもしろ」の仮説と実際2】	教育方法17(石川) 【教育方法17】		
11月5日(土)	教育方法18(石川) 【教育方法18】	教育方法19(石川) 【教育方法19】	教育方法20(石川) 【教育方法20】	教育心理13(石川) 【教育心理13】	教育心理14(石川) 【教育心理14】		
11月8日(火)						実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】
11月9日(水)	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】		
11月12日(土)	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】		
11月15日(火)						実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】
11月16日(水)	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】	実習指導の実際(瀬戸・丸山・木村他) 【実習指導の実際】		
11月19日(土)	看護論6(山越) 【看護論6】	看護論7(山越) 【看護論7】	看護論8(山越) 【看護論8】	看護論9(山越) 【看護論9】	看護論10(山越) 【看護論10】		
11月22日(火)						実習指導の実際3(吉地) 【実習指導の実際3】	実習指導の実際4(吉地) 【実習指導の実際4】
11月23日(水)	祝日						
11月26日(土)	2年級生涯教育1(鈴木) 【教育原理1】	2年級生涯教育2(鈴木) 【教育原理2】	2年級生涯教育3(鈴木) 【学生の認識の理解1】	2年級生涯教育4(鈴木) 【学生の認識の理解2】	2年級生涯教育5(鈴木) 【学生の認識の理解3】		
11月29日(火)						実習指導の実際5(吉地) 【実習指導の実際5】	実習指導の実際6(吉地) 【実習指導の実際6】
11月30日(水)	実習指導の実際7(吉地) 【実習指導の実際7】	実習指導の実際8(吉地) 【実習指導の実際8】	実習指導の実際9(吉地) 【実習指導の実際9】	実習指導の実際10(吉地) 【実習指導の実際10】	看護論11(山越) 【看護論11】		
12月3日(土)	特別講義(会場:いわきワシントンホテル富士荘)						
12月6日(火)						看護教育概観10(久米) 【看護教育概観10】	看護教育概観11(久米) 【看護教育概観11】
12月7日(水)	看護論12(山越) 【看護論12】	看護研究の基礎1(山越) 【看護研究に必要基礎知識1】	看護研究の基礎2(山越) 【看護研究に必要基礎知識2】	教育心理15(石川) 【教育心理15】	教育心理16(石川) 【教育心理16】		
12月10日(土)	2年級生涯教育6(鈴木) 【学生の認識の理解4】	2年級生涯教育7(鈴木) 【実習指導の方法と留意点1】	2年級生涯教育8(鈴木) 【実習指導の方法と留意点2】	2年級生涯教育9(鈴木) 【実習指導の方法と留意点3】	2年級生涯教育10(鈴木) 【実習指導の方法と留意点4】		
12月13日(火)						看護研究の基礎3(山越) 【看護研究に必要基礎知識3】	看護研究の基礎4(山越) 【看護研究に必要基礎知識4】
12月14日(水)	看護研究の基礎5(山越) 【看護研究に必要基礎知識5】	2年級生涯教育11(鈴木) 【実習指導の方法と留意点5】	2年級生涯教育12(鈴木) 【実習指導の方法と留意点6】	2年級生涯教育13(鈴木) 【実習指導の方法と留意点7】	2年級生涯教育14(鈴木) 【実習指導の方法と留意点8】		
12月17日(土)	看護論13(久米) 【看護論13】	看護論14(久米) 【看護論14】	文庫授業1(山浦・木村) 【文庫授業方法1】	文庫授業2(山浦・木村) 【文庫授業方法2】	文庫授業3(山浦・木村) 【文庫授業方法3】		
12月20日(火)						看護論15(久米) 【看護論15】	文庫授業4(山浦・木村) 【文庫授業方法4】
12月21日(水)	閉講式						

4. 教育改革

■学修総合支援センター

学修総合支援センター（Center for Learning Assistance and Support Services：通称 CLASS）は、いわき明星大学の教育目標である「全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成」に基づき、学生の学修活動への直接的・間接的な支援を行い、学力の向上と定着を目指すとともに、就職力の強化を図ることを目的として、2015年4月に設置されました。

1. 補習（リメディアル）教育

学士力養成のための基礎学力の向上を目的として、対面式学習と e-learning 学習を組み合わせた効果的なリメディアル教育を実施し、授業⇒リメディアル学習⇒授業というサイクルを全学的に共有・確立することにより、学力の全学的な底上げを図ります。

2. 教職課程の総合支援

地域のニーズに応える優れた教員を養成するという本学の使命を達成する目的で、教職課程履修の支援、および教員採用試験対策の強化に取り組みます。

3. 初年次教育・キャリア教育刷新のための支援

大学生活への速やかな適応、基本スキルの修得、キャリアデザイン意識の醸成を目的とした、新カリキュラムによる全学共通初年次教育、および、これを「プレ」段階として、プレキャリア教育⇒本キャリア教育⇒就活教育⇒就活と、4年間を通して体系的に積み上げていくキャリア教育プログラムの整備・運営の支援を行います

▼平成 28 年度 学修総合支援センター活動報告書

■アクティブラーニング

本学では、アクティブラーニング教室として、2号館 2 - 102 教室（296 席）と薬学部棟 16-B107（80 席）を整備し、教養学部では「フレッシューズセミナー」や「キャリアデザイン」など、薬学部では「イグナイト教育」や「生物学演習」、「数学」などに活用されています。また、全学 F D ・ S D 研修会などの学内イベントにも活用されています。

■ICT

1. manab@IMU

学修成果の蓄積による振り返り学習や、PBL、およびコースウェアとしての利用を目的として整備しており、授業では 285 のコースが利用されている。うち、167 コースが参照数 1000 回を超え有効に利用されている。

2. タブレット

学生1人当たりの学内でのタブレット利用時間は、薬学部が20.9[時間/月]、教養学部が18.9[時間/月]となっている(ネットワーク上で10分毎に接続を確認)。

教員の利用は授業利用アンケート(対象者94名 回答率44.7%)の結果、対象となる1,2年生の担当科目のうち、タブレットPCを利用する科目の割合は57%で、利用内容に対する回答からは、課題や資料配布のほか、理解度の確認など双方向での利用が行われていることがわかる。

3. 電子教科書

電子教科書は紀伊國屋書店のKinoppyを利用している。市販されている書籍のほかに同システムを利用して学内で作成した教科書の利用も行っている。

■フレッシューズセミナー

いわき明星大学の教養学部では、高校から大学への円滑な移行のため、フレッシューズセミナー1・2の講義を実施している。平成27年4月の教養学部設置に合わせて設計された初年次教育プログラムであり、シラバスに記載されている教育目標は以下の3点である。

- ①高校と大学の違いを理解し自律的な学修習慣・マナー・自己管理能力を身に付けること
- ②大学で学ぶための基本的なスタディ・スキル(図書館の利用法・レポートの書き方・日本語リテラシーなど)を身に付け、専門科目への橋渡しを行うこと
- ③グループワーク等を通して、大学内に豊かな人間関係を形成すること

本講義の最も大きな特徴は、少人数制でのクラス運営である。1クラス22~23名に対し、教員3名と学生サポート1名を配置し、本学の教育理念である「手塩に掛ける教育」を実践している。また、前期と後期に少なくとも1回は全学生と個別面談を行い、学生の状況把握をしている。他にも、年間60コマ(前期30コマ・後期30コマ)の講義をアクティブラーニング形式で実施している点や、1コマごとに教本を作成し、事前に教員間で共有を行っていることなどが、本科目の特徴として挙げられる。

以上の取り組みにより、平成28年度は、新入生の年間退学者数を1名に抑えることができた。また、授業評価アンケートにおいても、年間で4.2/5.0以上を維持しており、高い評価を得ている。今後も内容を改善していくことによって、早期退学者の防止と大学生活への円滑な移行を推進していく。



教養学部フレッシューズセミナー 授業風景

■キャリア教育

本学の教養学部では、1年次のフレッシュャーズセミナー（1・2）、2年次のキャリアデザイン（1・2・特講A）、3年次のキャリアデザイン（3・4・特講B）及びインターンシップの各授業を中心に、段階的にキャリア教育を実施しています。

平成28年度は、2年次のキャリアデザイン科目が開講される最初の年度で、中でも、PBL（Problem Based Learning, Project Based Learning）を取り入れた課題解決型学習は、学生はもちろんのこと、担当教員も手探りの状況の中、地域の企業やNPO団体等との連携・協力を得て、フィールドワークを中心に、地域課題の理解と解決策の提案を行ってきました。授業の締めくくりとして、協力いただいた地域の方々を交えた成果発表会を行い、厳しいご意見、批評も含め、大きな成果を得ることができたと同時に、次年度以降のプログラムの継続、見直しを行っています。

薬学部では、薬剤師国家試験合格と、卒業後の薬剤師を主とした医療人としての自己実現という目標達成に向け、1年次から「イグナイト教育」という本学独自の授業プログラムを段階的に展開しています。1年次から病院や薬局、製薬会社などで実習見学を実施したり、アナウンサーによるコミュニケーション講演、がんを克服された方や薬害に遭われた方の講演を授業に取り入れるなど、知識や技術だけではなく、人間性豊かな医療人となるための充実したプログラムを実施しています。

5. 学生の状況

1) 学生募集の状況

定員充足を目指し、教育目標・カリキュラム構成を受験生へ周知するため、以下の事業を実施してきました。しかし、教養学部における入学者数は75名（入学定員充足率62.5%）、薬学部の入学者数は87名（入学定員充足率96.7%）、開設初年度となる看護学部の入学者数は86名（入学定員充足率107.5%）と、既存の2学部において定員を充足することができなかった。

■主な活動

- ・ 新入生27名により夏季に母校へ訪問、近況の報告と本学の広報を実施。
- ・ オープンキャンパスでは、来場者（高校生）の利便性を高め、誘引することを目的とし、無料送迎バスを7月では仙台・福島・郡山からの直通バスを運行、さらに高校から大学までの直通バスを4本運行した。さらに、在学生による駅前広報センターでの実施告知活動や県内CM・媒体告知、FM放送を活用してきた。看護学部の開設に伴い、開設記念オープンキャンパスを実施、来場者数は昨年度から144%増加した（H27高校生498名→H28高校生716名）。
- ・ 昨年に引き続きオープンキャンパスとは異なった、キャンパスライフの実体験を主とした『大学体験・見学会（ハッピーマンデー公開授業）』を9月・10月の2回実施。9月では26名、10月では48名が来学、実際の授業や在学生とのキャンパスランチ、学修総合支援センターでの資格支援など、大学体験から本学の魅力を強く伝えることができた。
- ・ 教養学部では、福島県内を重点地区とし、高校訪問を中心に高校内進学ガイダンス参加や高校との総合大学を実施し、地域における学び＝本学の魅力・特色＝福島における就職を訴え、県内入学生のさらなる獲得を目指してきたが、実業・総合系高校での就職状況の向上等の影響から大学進学者への誘引に結ばず、78%と大きく減員した（教養学部H28県内入学数77名→教養学部H29県内入学数60名）。薬学部においては薬剤師国家試験の合格率全国1位の結果の基盤となっている「イグナイト教育」を中心に、県外高校へも近接する薬学系大学との教育成果の『差』を発信、県外入学生が5%増加、全体の入学者数でも10%増加した（薬学部H28入学数79名→薬学部H28入学数87名）。
- ・ 看護学部の開設に伴い、各地における医療系相談会へ積極的に参画、また大学独自の高校教員説明会、開設記念オープンキャンパス、ニーズ調査におけるピンポイント訪問等実施、定員の107.5%の入学者を獲得することができた（看護学部H28入学数86名（定員80名））。
- ・ いわき明星大学ホームページは看護学部開設等に合わせて再度リニューアル、スマートフォンやタブレットでも閲覧しやすい『フラットベース』を、またアニメーションキャラクターを継続採用、学生・教職員によるSNSも拡大し大学・募集広報を展開してきた。
- ・ 入試日程（別紙参照）

■平成28年度 いわき明星大学入学試験

1. 募集定員

(単位:人)

学部 学科	AO	推薦	一般		センター試験利用			合計
			1期	2期	A日程	B日程	C日程	
教養学部 地域教養学科	30	100	25	10	25	5	5	200
薬学部 薬学科	5	20	20	5	30	5	5	90
合計	35	120	45	15	55	10	10	290

※「教養学部」社会人特別入試の募集定員は若干名 ※「教養学部」AO入試には吹奏楽特待AO入試含む

2. 入試日程

入試種別		出願期間	選考日	合格発表	手続締切	試験会場				
AO	1期	8/17(月)～9/10(木)	一次:書類審査	一次:9/18(金)	12/18(金)	いわき				
			二次小論提出期限:10/2(金)	二次:10/16(金)						
			二次:10/11(日)							
	2期	10/30(金)～11/20(金)	一次:書類審査	一次:11/27(金)	1/15(金)	いわき				
二次小論提出期限:12/7(月)	二次:12/18(金)									
二次:12/12(土)										
吹奏楽特待AO	1期	8/17(月)～10/2(金)	10/11(日)	10/16(金)	12/18(金)	いわき				
	2期	11/18(水)～12/4(金)	12/12(土)	12/18(金)	1/15(金)					
専門高校・総合学科特別AO		8/17(月)～10/2(金)	10/11(日)	10/16(金)	12/18(金)					
指定校推薦/公募推薦1期		10/8(木)～11/4(水)	11/8(日)	11/13(金)	12/18(金)	いわき				
社会人特別*										
公募推薦2期							11/18(水)～12/4(金)	12/12(土)	12/18(金)	1/15(金)
自己推薦							2/1(月)～2/24(水)	3/1(火)	3/4(金)	3/25(金)
一般	1期	1/7(木)～1/26(火)12:00 必着(願書:大学持込可)	1/27(水)	1/29(金)	2/15(月)	いわき、郡山、仙台、東京				
	2期	2/1(月)～2/16(火)12:00 必着(願書:大学持込可)	2/17(水)	2/19(金)	3/3(木)	いわき、郡山、仙台				
センター試験利用	A日程	1/7(木)～1/29(金)	大学独自の試験は 実施しない	2/8(月)	2/15(月)	———				
	B日程	2/1(月)～2/16(火)必着		2/19(金)	3/3(木)					
	C日程	2/22(月)～3/11(金)		3/18(金)	3/25(金)					

■一般1期および一般2期は、出願締切日の12:00必着

■センターBは、出願締切日必着

■その他入試種別の出願締切は、出願締切日消印有効

2) 学生支援

■チューター面談

専任教員がチューターとして学生一人一人を担当するチューター制度を導入しており、学生の成績（GPA）や履修状況等を考慮しながら履修相談や日常生活における相談、学生指導を行うことで学生の修学指導に責任を持ち、学生個々人の状況にあわせたきめ細やかな指導を実施することで、学生の満足度を向上させ離籍率の低下を図ります。各学期のガイダンス前および試験の結果が出た時点で成績表を渡し、チューターとして担当している学生と面談を実施しています。

■学生情報の開示・共有化

本学では、教員と事務職員の連携により、学生情報の共有化を図っています。学生の授業への出席状況は、出席管理システムによって定期的な確認を行い、欠席の多い学生は担当教員（チューター等）へ連絡し、面談等をとおして指導、支援を行っています。また、教員による学生面談を定期的を実施し、面談内容を学内システムに蓄積し、学生情報の共有化を図っています。閲覧権限を設定し、個人情報の取扱いにも学内基準を設け、運用しています。

■平成28年度教職課程履修学生

4年生：22名

3年生：12名

2年生：7名

■ i k n o w

2年生の必修科目「英語C1」「英語C2」において、学習時間や達成度を評価全体の10%に取り入れた。

2016年度前期の評価期間は5月23日～7月29日、目標の学習時間は15時間以上、後期の評価期間は7月30日～2016年1月23日、目標の学習時間は15時間以上とした。

■VECTOR

○平成28年度教職課程履修学生

4年生：22名

3年生：12名

2年生：7名

○平成28年度VECTOR運営スケジュール

VECTOR スケジュール 2016

毎週水曜	内 容	詳 細	担 当
6月8日	教職カフェ		石川哲夫
6月22日	論作文指導		齋藤貢一
6月29日	教職カフェ		石川哲夫
7月6日	教職スキルアップ		石川景一
7月13日	論作文指導		齋藤貢一
7月20日	教職フォーラム	教育実習・介護等体験実習の発表 1	石川哲夫
7月27日	論作文指導		齋藤貢一
9月14日	教職フォーラム	教育実習・介護等体験実習の発表 2	石川哲夫
9月21日	教職フォーラム	教員採用試験合格体験講話	石川哲夫
9月28日	論作文指導		齋藤貢一
10月5日	教職フォーラム	現役中堅教員(本学卒業生)による講話	石川哲夫
10月19日	教職スキルアップ	※前半:授業参観(11/2)事前指導 1	石川景一
10月26日	論作文指導	※前半:授業参観(11/2)事前指導 2	齋藤貢一
11月2日	教職フォーラム	近隣学校へ授業参観	石川哲夫
11月9日	教職フォーラム	いわき市教育委員会の方による講話	石川哲夫
11月16日	教職カフェ		石川哲夫
11月30日	論作文指導		齋藤貢一
12月7日	教職フォーラム	プレイバック模試(全員参加)	石川哲夫
12月14日	教職スキルアップ	プレイバック模試の振り返り	石川景一
12月21日	論作文指導		齋藤貢一
1月11日	教職フォーラム	教職カルテの記入	石川哲夫
1月18日	まとめ	年度末課題(図書関係紹介) @学習センター	全員

■NGA活動

【4月】

- ・NHK 福島放送局「F のモト」(スポット番組)に NGA 学生 15 名が出演(4/20~4/24 の計 6 回放送)
- ・熊本地震募金活動(学内・ラブ・エブリア)
- ・学内ゴミ拾い
- ・福島民友「キャンパス通信」への寄稿(月 2 回)

【5月】

- ・募金贈呈式(本学→社会福祉協議会→熊本): 101 万円
- ・オープンキャンパス(学生企画担当)
- ・苗木 for いわきプロジェクト(ユースホステル跡地)参加
- ・海外林再生植栽プロジェクト(相馬市松川浦)参加

・名物教員インタビュー(富田先生・初見先生):アドちゃんブログ掲載

・福島民友「キャンパス通信」への寄稿(月2回)

【6月】

・オープンキャンパス(学生企画担当)

・熊本地震募金活動(ラトブ)

・学内ゴミ拾い(第2駐車場)

・福島民友「キャンパス通信」への寄稿(月2回)

【7月】

・合宿(かんぽの宿いわき 1泊2日)

・オープンキャンパス(学生企画担当)

・選挙啓発活動(厚生館前)

・七夕イベント(サテライトオフィス)

・福島民友「キャンパス通信」への寄稿(月2回)

【8月】

・熊本地震募金活動(エブリア)

・フラガールズ甲子園・運営サポート(いわきアリオス)

・レクリエーションボランティア(高久仮設住宅) ※明星大学との合同

【9月】

・オープンキャンパス(学生企画担当)

・熊本地震募金活動(ラトブ)

・選挙啓発活動(イオン)

・お祭り手伝いのボランティア(上三坂地区)

・学内ゴミ拾い(本学第2駐車場)

【10月】

・熊本地震募金活動(ラトブ)

・植林活動(新舞子海岸)

・災害公営住宅の花壇作り(薄磯災害公営住宅)

・学内ゴミ拾い(第一駐車場)

・福島民友「キャンパス通信」への寄稿(月2回)

【11月】

・熊本地震募金活動(ラトブ)

・全学ゴミ拾い大会(学内)

・学内ゴミ拾い(第二駐車場)

・植林活動(三和町、薄磯防災緑地)

・芋煮会のお手伝い(薄磯災害公営住宅)

・公開講座のアシスタント

・福島民友「キャンパス通信」への寄稿(月2回)

【12月】

- ・選挙啓発活動における表彰式(ボランティア班)
- ・ハワイアンズ×NGA 連携プログラム(リピーター増加施策提案)※ハワイアンズ 1泊2日
- ・熊本地震募金活動(ラトブ)
- ・保護者研修会ボランティア(いわき短期大学)
- ・草刈・剪定(湯ノ岳山荘)
- ・学内ゴミ拾い(第1学生駐車場)
- ・福島民友「キャンパス通信」への寄稿(月2回)

【1月】

- ・熊本地震募金活動(エブリア)
- ・全学ゴミ拾い大会(学内)
- ・福島民友「キャンパス通信」への寄稿(月2回)

【2月】

- ・サンシャインマラソン運営ボランティア
- ・熊本地震募金活動(ラトブ)
- ・福島民友「キャンパス通信」への寄稿(月2回)

【3月】

- ・オープンキャンパス(学生企画担当)
- ・福島民友「キャンパス通信」への寄稿(月2回)

■部活動報告

○吹奏楽団成績報告

「第54回福島県吹奏楽コンクール」 金賞・県知事賞受賞(福島県代表)

「全日本吹奏楽コンクール第59回東北大会」 金賞受賞(初の東北代表)

「第64回全日本吹奏楽コンクール全国大会」 初出場・銅賞受賞



全日本吹奏楽コンクール全国大会



全日本アンサンブルコンテスト東北大会

「第44回福島県アンサンブルコンテストいわき支部大会」

打楽器八重奏、金管八重奏が揃って金賞受賞(いわき支部代表)

「第44回福島県アンサンブルコンテスト」 打楽器八重奏 金賞受賞(福島県代表)

「全日本アンサンブルコンテスト第44回東北大会」 打楽器八重奏 金賞受賞

○優秀個人賞

高木 駿さん(現代社会学科4年 硬式庭球部)

キャプテンを務め、全日本大学対抗テニス王座決定試合東北地区大会では、4年間で通算成績15勝4敗の成績を残した。

吉田 壮伍さん(科学技術学科3年 Comic Art 部)

学園祭で入場者に配布するビニール袋のイラストを作成するなど積極的な協力をした

○学園祭報告

- ・日時：平成28年10月22日(土)～10月23日(日)開催
- ・来場者数 10/22(土) 2,011名 10/23(日) 1,699名
- ・ライブ入場者数 885名
- ・トークショー入場者数 260名

■奨学金状況報告

平成28年度の奨学金採用状況は以下のとおりです。

○本学独自の奨学金

1. いわき明星大学奨学金(特待生) 【給付】 学部8名(大学院対象外) 計8名
 2. いわき明星大学奨学金(給付) 【給付】 学部42名・大学院0名 計42名
 3. いわき明星大学勤労奨学生 【給付】 学部29名・大学院0名 計29名
 4. 修学支援緊急奨学金 【学費減免】 学部4名・大学院0名 計4名
 5. 明星ファミリー奨学金 【学費減免】 学部15名(大学院対象外) 計15名
- 採用者合計 学部98名・大学院0名 計98名

○学外の奨学金

1. 日本学生支援機構奨学金 【貸与】 学部435名・大学院2名 計437名
 2. 福島県奨学資金 【貸与】 学部4名(大学院対象外) 計4名
 3. 三菱商事復興支援財団奨学金 【給付】 学部2名(大学院対象外) 計2名
 4. いわき信用組合奨学金 【給付】 学部5名(大学院対象外) 計5名
 5. クリナップ財団奨学金 【給付】 学部2名(大学院対象外) 計2名
 6. 河内奨学財団奨学金 【給付】 学部4名(大学院対象外) 計4名
 7. 中村積善会 【給付】 学部4名・大学院0名 計4名
 8. その他 民間奨学金 【給付】 学部3名・大学院0名 計3名
- 採用者合計 学部459名・大学院2名 計461名

■保健管理報告

○保健管理センター学生相談部門

学生をはじめご家族、教職員など「学生支援に関わる全ての方」を対象に、心理支援サービスを提供しています。学生一人ひとりの成長を支える場として、2016年度は延べ2,830名もの皆さまにご活用いただきました。利用者が、生きていくうえで誰もが抱える、当たり前の苦勞について考え、悩み、共に語りあえる人と出会い、仲間との縁を結び、生きる力を育てていくことができる。学生部門は、個別相談や学生サロン運営を通じて、このような教育・発達促進的機会を

提供しています。特に学生サロンは、人と人とのつながりを創造する場として、学生のみならず、教職員や地域の皆様にご協力いただき、大小さまざまなイベントを開催しています。学生 10 人に 1 人が利用経験をもつ、利用度の高い場所になっています。

月	日	プログラム内容	参加者数
4	13日(水)	ランチセッション&レクリエーション(12:20~14:00)	5名
	27日(水)	ランチセッション&レクリエーション(12:20~14:00)	5名
5	11日(水)	ランチセッション&レクリエーション(12:20~14:00)	5名
	18日(水)	コミュニケーション・セミナー①(13:00~15:00)	5名
	25日(水)	初夏の学内散策(13:00~14:00)	7名
6	8日(水)	ランチセッション&レクリエーション(12:20~14:00)	15名
	22日(水)	コミュニケーション・セミナー②(13:00~15:00)	10名
	29日(水)	ランチセッションと七夕飾り作り(12:20~14:00)	10名
7	6日(水)	七夕会(12:20~14:00)	19名
	20日(水)	コミュニケーション・セミナー③(13:00~15:00)	7名
8	3日(水)	ランチセッション&レクリエーション(12:20~14:00)	7名
9	14日(水)	ランチセッション&レクリエーション(12:20~14:00)	6名
	28日(水)	コミュニケーション・セミナー④(13:00~15:00)	6名
10	5日(水)	ランチセッション&レクリエーション(12:20~14:00)	8名
	19日(水)	コミュニケーション・スキルアップセミナー(13:00~15:00)	6名
11	2日(水)	秋の学内散策(13:00~14:00)	4名
	16日(水)	ランチセッション&レクリエーション(13:00~15:00)	6名
	30日(水)	ランチセッション&クリスマス会の準備(12:20~15:00)	6名
12	14日(水)	ランチセッション&クリスマス会の準備(12:20~15:00)	8名
	21日(水)	クリスマス会(12:20~15:00)	25名
2017	1日(水)	ランチセッション&レクリエーション(12:20~14:30)	3名
2	15日(水)	ランチセッション&卒業生を送る会準備(12:20~14:30)	2名
3	15日(水)	卒業生を送る会(12:20~15:00)	12名
計			187名

○平成 28 年度 保健管理センター年間活動報告

月	内容
4月	入学式(救護)、ガイダンス 新入生基礎疾患把握・呼び出し・フォロー 障害学生における支援内容確認・連携 定期健康診断・健康診断結果配布 健康診断結果事後措置 教職員健康診断開始
5月	UPI(University Personality Inventory)結果による呼び出し・学生相談室との連携 健康診断結果事後措置 禁煙週間イベント(主催:いわき市保健所)
6月	父母会総会(救護)、学内献血 オープンキャンパス(救護)

7月	保健管理センター運営委員会（第1回） オープンキャンパス（救護）、表現文化祭（救護）
8月	弓道大会（救護） オープンキャンパス（救護）
9月	父母会地区懇談会 労働基準監督署報告（定期健康診断・特殊健康診断）
10月	入試対応（救護） 学園祭（救護、食中毒防止）・性感染症検査（主催：いわき市保健所） 後期特殊健康診断（学生・教職員）
11月	防災訓練（救護班） 入試対応（救護）
12月	救急法講習会（協力：いわき市消防団） 子宮頸がん検診（主催：いわき市保健所） 薬学部 OSCE（救護）、入試対応（救護）
1月	大学入試センター試験（救護） 薬学部 CBT（救護） 労働基準監督署報告（定期健康診断・特殊健康診断）
2月	入試対応（救護） 保健管理センター運営委員会（第2回）
3月	入試対応（救護）、オープンキャンパス（救護） 学位記授与式（救護）

■学生データ

いわき健康大学 学部・学科別在学学生数(入学生数含む)

	平成28年度 2016			平成29年度 2015			平成30年度 2014			平成31年度 2013			平成32年度 2012			平成33年度 2011			平成34年度 2010			平成35年度 2009			平成36年度 2008			平成37年度 2007			前年度			
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計				
薬学部薬学科							44	11	55	40	6	46	4		4	3		3	2		2									93	17	110		
薬学部看護学科							44	11	55	40	6	46	4		4	3		3	2		2									93	17	110		
看護学部看護学科							20	7	27	19	25	44	1	1	2	2		2			1		1							39	43	82		
福祉学部福祉学科							19	4	23	26	7	33	3		3	1		1												49	11	60		
体育学部							24	34	58	27	25	52	5	2	7	4	2		6	1		1								61	63	124		
入学生数							93	93	186	69	97	166	9	3	12	7	2		9	1		1		1					149	117	266			
男子	47	32	79	33	41	74	25	39	64	19	19	38	12	19	31	17	22		39	12	22	40	11	5	16	6	3	9	6	2	8	203	204	407
女子	47	32	79	33	41	74	25	39	64	19	19	38	18	19	37	17	22		39	18	22	40	11	5	16	6	3	9	6	2	8	203	204	407
健康学部健康学科	59	40	99	58	56	114																								118	75	193		
健康学部保健学科	59	40	99	58	56	114																								118	75	193		
合計	106	72	178	82	79	161	135	105	240	127	82	209	31	22	53	27	24		51	21	22	43	12	5	17	6	3	9	6	2	8	563	416	979

2016.10.1作成

いわき明星大学 大学院・専攻別 在学者数（入学年度ごと）

	平成28年度			平成27年度			平成26年度			平成25年度			平成24年度			平成23年度			総合計		
	2016			2015			2014			2013			2012			2011					
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
物理学専攻 物理工学専攻	3		3																3		3
理工学研究科(修士)計	3		3																3		3
日本文学専攻 英米文学専攻 社会学専攻																					
				1		1													1		1
臨床心理学専攻	2	5	7		2	2	1		1										3	7	10
人文学研究科(修士)計	2	5	7	1	2	3	1		1										4	7	11
修士課程計	5	5	10	1	2	3	1		1										7	7	14
物理工学専攻 日本文学専攻				1		1													1		1
修士課程計				1		1													1		1
理工学研究科(修士)計	3		3																3		3
人文学研究科(修士・博士)計	2	5	7	2	2	4	1		1										5	7	12
総計	5	5	10	2	2	4	1		1										8	7	15

2016.5.1作成

3) 就職支援

■就職状況

就職内定率: 97.7%【173名(就職内定者)／177名(就職希望者)】

〔内 訳〕 科学技術学部 100%【37名(就職内定者)／37名(就職希望者)】

人文学部 95.1%【77名(就職内定者)／81名(就職希望者)】

表現文化学科 93.5%【27名(就職内定者)／29名(就職希望者)】

現代社会学科 94.4%【21名(就職内定者)／22名(就職希望者)】

心理学科 96.7%【29名(就職内定者)／30名(就職希望者)】

薬学部 100%【59名(就職内定者)／59名(就職希望者)】

■インターンシップ

(1) 実施学科人数

	学科名	参加人数	(昨年)
1	科学技術学科	47	(32)
2	表現文化学科	19	(25)
3	現代社会学科	13	(10)
4	心理学科	23	(24)
	計	102	(91)

(2) 受け入れ企業

	インターンシップ企業名等	参加人数		インターンシップ企業名等	参加人数
1	スパリゾートハワイアンズ	13	21	(株)常磐製作所	1
2	いわき市役所	9	22	(株)相馬屋	1
3	アルパインマニュファクチャリング(株)	9	23	(株)タビックスジャパンいわき支店	1
4	ヨークベニマル(株) ※	7	24	(株)ハニーズ	1
5	アイ・ケイ・ケイ(株) ララシャンスいわき	5	25	(株)山木福寿会	1
6	(株)FSK	5	26	常磐共同火力(株)勿来発電所	1
7	平商事(株)ヤマニ書房	5	27	新常磐交通(株)観光事業部 常磐交通観光	1
8	(株)マルト	3	28	特定非営利活動法人 すだち ※	1
9	八幡印刷(株)	3	29	トヨタローリーいわき(株)	1
10	スーパースポーツゼビオいわき店	3	30	日総ニティ(株)すいとびサービスセンター	1
11	(株)江東微生物研究所	3	31	(有)日々の新聞社	1
12	(株)サンシャインいわき	2	32	(有)サポート ポチの家	1
13	(株)サンフレックス永谷園	2	33	(有)モーハウス ※	1
14	ひまわり信用金庫 ※	2	34	社会福祉法人 五彩会	1
15	福島銀行 ※	2	35	(株)ワンダーファーム ※	1
16	(株)アラオカ ※	2	36	山形パナソニック(株)	1
17	TK minami ※	2	37	(株)ドーム ※	1
18	トビタテ留学 JAPAN	2	38	日立市役所	1
19	(株)dreamLab	1	39	法務省 仙台矯正管区 ※	1
20	(株)いわき市民コミュニティ放送	1	40	NPO法人 がんばろう福島 農業者等の会 ※	1
			41	いわき明星大学 管理センター(情報システム)	1

(3) 成果発表会

平成 28 年 10 月 8 日(土)13:00～16:30

参加学生数: 86 名(科技:38 名、表現:18 名、現社:11 名、心理:19 名)

参加企業・団体: 8 社 [常磐興産(株)、(株)マルト、アルパインマニュファクチャリング(株)、(株)江東微生物研究所、(株)サンシャインいわき、(社福)五彩会、(株)山木福寿会、いわき商工会議所]



インターンシップ成果報告会写真



業界研究セミナー

■就職支援事業及び参加人数

平成28年度科技・人文向け就職支援行事(抜粋)

行事名	実施日	実施場所	参加学生数
リクナビLIVE(無料送迎バス)	4月9日(土)	ビッグパレット ふくしま	5名
就職個別面談	5月26日(木)~6月30日(木)	事務局	-
マイナビ就職EXPO(仙台)	6月19日(日)	仙台 サンフェスタ	13名
履歴書の書き方・面接対策講座	6月29日(水)・30日(木)	3-201	29日9名30日7名
学内合同企業説明会	7月9日(土)	2-102 他	36名
若年者合同企業説明会	8月24日(水)	ビッグパレット ふくしま	5名
東北地区私立大学就職セミナー	8月25日(木)	仙台サンプラザホール	7名
4年生向けキャリアガイダンス	9月13日(火)	3-102	53名
茨城合同就職説明会	9月30日(金)	ホテルレイクビュー水戸	3名
インターンシップ実施報告会	10月8日(土)	3-304	86名
マイナビ就職セミナー(仙台)	10月10日(月)	仙台アエル	3名
4年生向け 就職個別相談	随時	事務局	未決学生: 計46名
学内合同企業説明会	11月4日(金)	本館4階大会議室 他	21名
業界研究セミナー(3年生)	11月12日(土)	2-102	80名
就職個別面談(3年生)	11月21日(月)~12月22日(金)	事務局	-
上級生の就職活動体験を聞く (3年生)	12月8日(木)	3-304	内定者12名 3年生85名
履歴書用写真撮影会(3年生)	12月15日(木)~1月19日(木)	本館4階小会議室	136名
大模擬面接会(3年生)	1月21日(土)	2号館 各講義室	57名
女子学生のためのメイクアップ講座(3年生)	1月27日(金)	3W-301	21名
就活解禁直前フォロー講座 (3年生)	2月1日(水)・27日(月)	2-102	1日11名 27日名
マイナビ就職EXPO (無料送迎バス)(3年生)	3月1日(水)~3月2日(木)	宮城 グランディ21	72名
ふくしま大卒等就職ガイダンス (無料送迎バス)(3年生)	3月8日(水)	ビッグパレット ふくしま	26名
学内合同企業説明会(3年生)	3月14日(火)・16(木)	3-301 他	14日73名 16日78名

平成28年度薬学部向け就職支援行事(抜粋)

行事名	実施日時	実施場所	参加学生数
就職個別面談(5年生)	11月22日(火)~12月22日(金)	事務局	31名
履歴書用写真撮影会(5年生)	12月15日(木)~1月19日(木)	本館4階小会議室	24名
履歴書・エントリーシートの書き方 講座(基礎編)	2月6日(月)	16-B107	25名
面接対策講座(基礎編)	2月9日(木)	16-B107	17名
面接対策講座(実践編)	2月13日(月)	16-B107	11名
履歴書・エントリーシートの書き方 講座(実践編)	2月16日(木)	16-B107	13名
女子学生のための メイクアップ講座	2月20日(月)	16-B107	12名
学内合同企業説明会	3月4日(土)	3-301 他	34名

※その他、科学技術学部・人文学部・薬学部対象 単独企業説明会を年間通じて実施。

■主な就職先(就職データ)

科学技術学科	東京電力HD(株)／福島県警／損害保険ジャパン日本興亜(株)／常磐興産(株) ／いわき信用組合／(株)マルト／(株)東日本計算センター／タニコ(株)／アイ・ケイ・ケイ(株) ／(株)江東微生物研究所／(株)倉島商店／(株)FSK／東京パワーテクノロジー(株)／ (株)トハシカメラ
人文学部	損害保険ジャパン日本興亜(株)／野村証券／福島県警／東邦銀行／大東銀行／ ひまわり信用金庫／あぶくま信用金庫／(株)ハニーズ／(株)マルト／(株)くすりのマルト ／渡辺ハイフ(株)／セビオ(株)／(株)カインズ／(株)平果／いわき魚類(株)／ いわき福音協会／東新工業(株)／中越運送(株)／一関市役所
薬学科	福島県職員／いわき市立総合磐城共立病院／社団医療法人養生会 かしま病 院／公益財団法人 星総合病院／公益財団法人磐城済世会 松村総合病院／ つくばセントラル病院／クオール(株)／ウエルシア薬局(株)／(株)ファーマックス／(株)ツルハ ／サトドラッググループ／クリエイトエスティー(株)／(株)くすりのマルト／アホロメディカルHD

6. キャンパス・アメニティ

■教育研究機関報告

○図書館

(1) 建物・職員数・蔵書状況及図書費

(平成29年3月31日現在)

建物延面積	職員数				蔵書冊数				平成28年度増加冊数			平成28年度	
	専任	兼任	非常勤	退職再登	和	洋	計	内閣架図書	内指定図書	和	洋	計	図書購入費
㎡	人	人	人	人	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	千円
4,943	1	1	0	13	221,869	59,533	281,402	79,114		6,397	641	7,038	29,389

(2) 利用状況及び文献複写件数

(平成28年度分)

図書館利用状況										文献複写		
学 生					教 職 員					学内分	学外分	計
対象学生数	館内閲覧		館外貸出		対象職員数	館内閲覧		館外貸出				
	人	人	冊	人		冊	人	人	冊	人	冊	件
1,013	—	—	3,186	6,083	301	—	—	883	2,294	549	127	676

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数・製本冊数

(平成28年度分)

雑誌・新聞所蔵			受付種類数						雑誌・新聞購入費	製本冊数	
			受付数			内購入分				冊数	金額
和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	千円	冊	千円
冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	千円	冊	千円
900	496	1396	122	69	191	118	69	187	4,382	0	0

○心理相談センター

1. センター員の構成

センター相談員は、臨床心理士有資格者である人文学研究科臨床心理学専攻の教員5名と専任カウンセラー2名の計7名です。センター研修員は、人文学研究科臨床心理学専攻の大学院生10名です。また、大学院を修了した大学院生のうち、当センターでの卒業研修に任意登録した10名が特別研修員です。以上に、事務職員1名を加えた総計28名が、本年度センター員として活動しています。

2. 臨床心理に関する調査・研究

2-1 心理相談センター紀要第11号の発行

平成27年度の心理相談センターの活動報告を「いわき明星大学心理相談センター紀要第11号」にまとめ、学内外の関連部署・機関へ発送した。紀要第11号には、原著論文、震災支援報告として研究視察報告やリラックス学習会、富士通「[平成27年度]いわき市一時提供住宅入居者等見守り支援」事業報告、被災後5年間の振り返りとして支援活動報告を報告したほか、「ぼんえつセミナー2015」特別企画講演の開催報告を掲載しました。

2-2 研究視察

心理相談センターで面談を継続していく中には、心理的援助による問題解決だけではなく、その方たちが自立して就労できるような社会的援助が必要とされる場合が多くある。そのため地域の関連機関の活動に対する理解を深めるため、いわき市内にあるソーシャルスクエア内郷、いわき若者サポートステーション、アイエスエフネットライフいわきへ9月に

視察を行いました。訪問先では、事業の概要や方針、その事業所独自の取り組みなどについて説明を受けました。

3. 心理相談

昨年度に引き続き、「新規来談者の獲得と安定した心理相談の実施」を目標に掲げ、相談活動を行いました。新規来談者数、総心理面接件数ともに増加しており、目標はおおよそ達成されました。本年度行われた総心理面接件数は年間 1337 件、月平均 111 件と、昨年度と同程度の面接件数でした。

■大学施設設備概要

開設準備（6号館看護学部改修工事）

竣工：平成28年12月

工事面積：2808㎡



7. 平成28年度事業報告

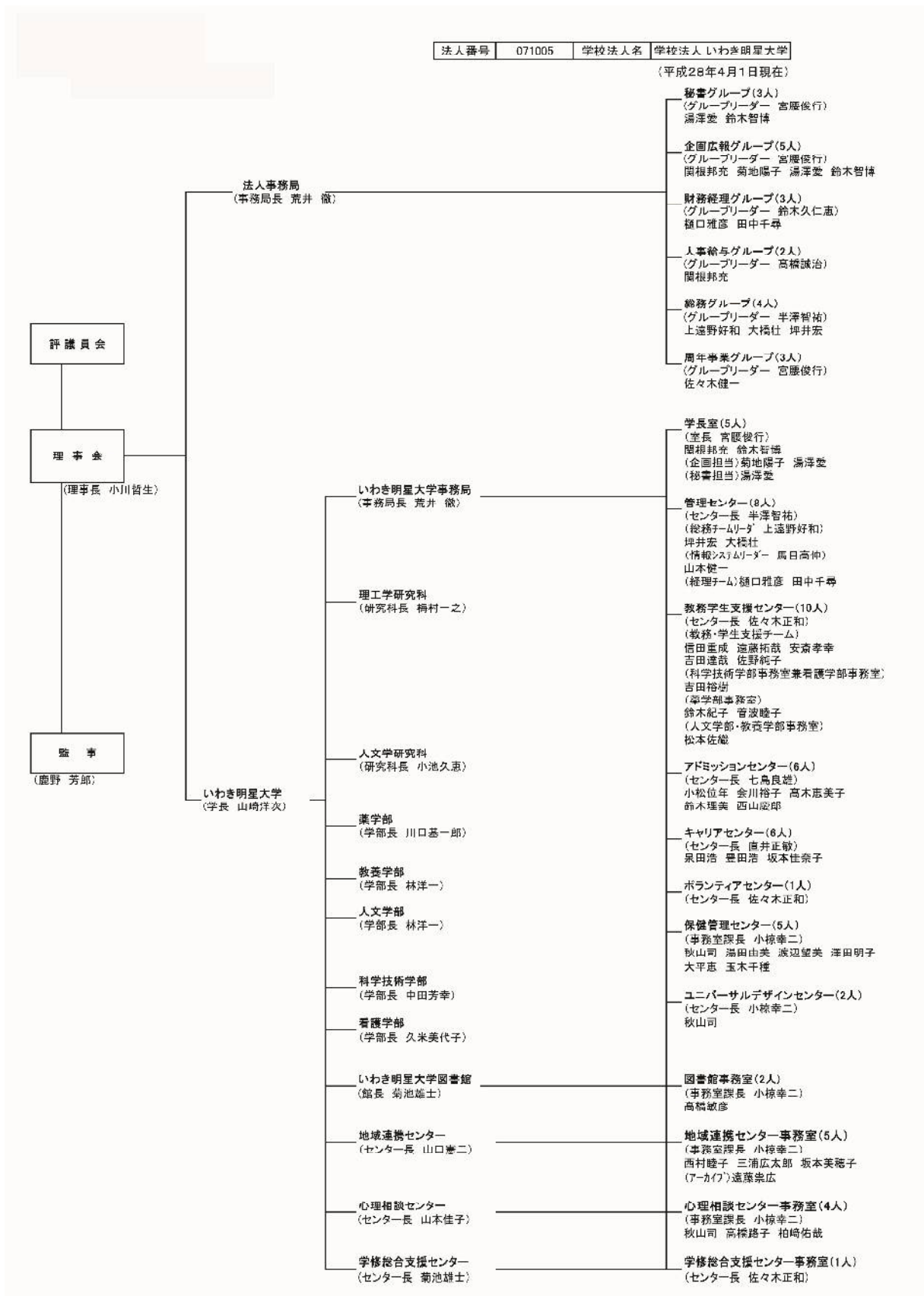
▼[平成28年度事業報告書](#)（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

8. 平成29年度事業計画

▼[平成29年度事業計画書](#)（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

9. 組織図 (法人・大学)・役職員

■組織図



■ 役職者名簿

法人役員

小川 哲生	役員	理事長
荒井 徹	役員	常務理事・事務局長
山村 侑僕	役員	常務理事
鹿野 芳郎	役員	監事

学長・学部長

山崎 洋次	いわき明星大学 学長
大内 和子	いわき明星大学 副学長
五十嵐 幸一	いわき明星大学 副学長
中田 芳幸	いわき明星大学 科学技術学部長・科学技術学科主任
林 洋一	いわき明星大学 人文学部長・教養学部長
川口 基一郎	いわき明星大学 薬学部長
梅村 一之	いわき明星大学 理工学研究科長
小池 久恵	いわき明星大学 人文学研究科長

学科主任・主幹

久呉 高之	いわき明星大学 教養学部 地域教養学科主任
奥村 賢	いわき明星大学 人文学部表現文化学科主幹
菊池 真弓	いわき明星大学 人文学部現代社会学科主幹
末次 晃	いわき明星大学 人文学部心理学主幹
菊池 雄士	いわき明星大学 薬学部薬学科主任

大学院

岩田 恵理	いわき明星大学(理研)物質理学専攻主任
山浦 政則	いわき明星大学(理研)物質理学専攻副主任
高 三徳	いわき明星大学(理研)物理工学専攻副主任
菊池 雄士	いわき明星大学 物質理工学専攻主任
村田 和子	いわき明星大学 物質理工学専攻副主任
堀川 麻子	いわき明星大学(人研)日本文学専攻主任代行
久呉 高之	いわき明星大学 英米文学専攻主任
柳澤 孝主	いわき明星大学 社会学専攻主任
窪田 文子	いわき明星大学(人研)臨床心理学専攻主任

附属研究機関

大内和子	図書館長・学修総合支援センター長
山口 憲二	地域連携センター長
山本 佳子	いわき明星大学 心理相談センター長
村田 和子	いわき明星大学 保健管理センター長

事務管理職者

半澤 智祐	専任職員	センター長（課長）
小椋 幸二	専任職員	センター長（課長）
宮腰 俊行	専任職員	グループ長
岩坂 健志	専任職員	財務経理 グループ長
高橋 誠治	契約職員	人事給与 グループ長
関根 邦充	専任職員	担当課長
上遠野 好和	専任職員	担当課長
鈴木 久仁恵	専任職員	担当課長
馬目 高伸	専任職員	担当課長
佐々木 正和	専任職員	担当課長
七島 良雄	専任職員	担当課長
直井 正敏	嘱託職員	キャリアセンター長

■教員一覧

▼[科学技術学部](#)

▼[教養学部](#)

▼[薬学部](#)

10. 資料

1) 大学データ

平成28年度 いわき明星大学 スクールカレンダー (案)

平成27年12月9日 (学部長会)

3月 (2016年)

月	火	水	木	金	土	日
21 振替休日	22	23	24	25 手続不切	26	27 ブレイク
28	29	30	31 1年オリ			

03/25(金) 入試手続不切
03/31(木) 1年生オリエンテーション

4月

月	火	水	木	金	土	日
				1 1年研修	2 1年研修	3 入学式
4 1年ガイ 4-6年健診	5 1-3年健診	6 学友会説明	7 授業	8 授業	9 授業	10
11 授業	12 授業	13 授業	14 授業	15 授業	16 授業	17
18 授業	19 授業	20 授業	21 授業	22 授業	23 授業	24
25 授業	26 授業	27 授業	28 スポーツフェスタ	29 昭和の日	30 授業	

04/01(金) 1年生コミュニケーション研修
04/01(金) 2年生-6年生ガイダンス
04/02(土) 1年生コミュニケーション研修
04/03(日) 入学式
04/04(月) 1年生ガイダンス
04/04(月) 4-6年(学部), 2年(修士)健康診断
04/05(火) 1-3年(学部), 1年(修士)健康診断
04/06(水) 学友会説明会
04/07~13 履修登録期間
04/15~20 履修登録確認変更期間
04/23(土) 白衣授与式(薬学5年)
04/28(木) IMUスポーツフェスタ

5月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 授業	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 授業	7 授業	8
9 授業	10 授業	11 授業	12 授業	13 授業	14 授業	15
16 授業	17 授業	18 授業	19 授業	20 授業	21 授業	22
23 授業	24 授業	25 授業	26 授業	27 授業	28 授業	29
30 授業	31 授業					

6月

月	火	水	木	金	土	日
						1 授業
6 授業	7 授業	8 授業	9 授業	10 授業	11 授業	12 父母会総会
13 授業	14 授業	15 授業	16 授業	17 授業	18 公開講座	19
20 授業	21 授業	22 授業	23 授業	24 授業	25 公開講座	26 OPEN CAMPUS
27 授業	28 授業	29 授業	30 授業			

06/05(日) 父母会総会
06/11(土) 公開講座
06/18(土) 公開講座
06/25(土) 公開講座
06/26(日) オープンキャンパス

7月

月	火	水	木	金	土	日
						1 授業
4 授業	5 授業	6 授業	7 授業	8 授業	9 授業	10 大学院入試
11 授業	12 授業	13 授業	14 授業	15 授業	16 授業	17
18 海の日	19 授業	20 授業	21 授業	22 授業	23 試験・補講	24
25 授業	26 授業	27 授業	28 授業	29 試験・補講	30 OPEN CAMPUS	31 OPEN CAMPUS

07/09(土) 入試: 大学院推薦1期(心理)
07/30(土) オープンキャンパス
07/31(日) オープンキャンパス

8月

月	火	水	木	金	土	日
1 試験・補講	2 試験・補講	3 試験・補講	4 試験・補講	5 試験・補講	6 試験・補講	7
8	9 消防点検	10 消防点検	11 山の日	12	13	14
15	16	17	18	19	20 成績報告不切	21
22 教免講習	23 教免講習	24 教免講習	25	26 CBT体験	27	28
29	30	31				

08/09(火) 消防点検【ベル鳴動】
08/10(水) 消防点検【ベル鳴動】
08/12~17 夏期一斉休業
08/20(土) 前期成績報告不切
08/22(月) 教員免許更新講習
08/23(火) 教員免許更新講習
08/24(水) 教員免許更新講習
08/26(金) CBT体験受験(薬学4年)

9月 ※薬学部4~6年生は9/1から後期授業を開始します

月	火	水	木	金	土	日
			1 成績通知	2	3 OPEN CAMPUS	4 OPEN CAMPUS
5	6	7 薬学部4年生 後期ガイダンス	8 大学院入試	9 FDSP研修会	10	11
12	13	14 授業	15 授業	16 授業	17 授業	18
19 授業 大学見学会	20 授業	21 授業	22 秋分の日	23 授業	24 授業	25 父母懇談会
26 授業	27 9/19振替	28 授業	29 授業	30 授業		

09/01(木) 前期成績通知
09/03(土) オープンキャンパス
09/04(日) オープンキャンパス
09/07(水) 前期卒業・終了学位記授与式
09/08(木) 入試: 大学院推薦1期・一般1期
09/09(金) 第1回全学FD-SD研修会
09/13(火) 後期ガイダンス
09/14~20 履修登録確認変更期間
09/19(月) 休日授業日(敬老の日)
09/19(月) 大学体験見学会
09/25(日) 父母懇談会
09/27(火) 振替休日(9/19: 休日授業日分)

平成28年度 いわき明星大学 スクールカレンダー (案)

10月

月	火	水	木	金	土	日
					1 授業	2
3 授業	4 授業	5 授業	6 授業	7 授業	8 授業	9 AO1期
10 授業 大学見学会	11 授業	12 10/10振替 全館停電	13 授業	14 授業	15 授業	16
17 授業	18 授業	19 授業	20 授業	21 学園祭	22 学園祭	23 学園祭
24 学園祭	25 授業	26 授業	27 授業	28 授業	29 授業	30
31 授業						

- 10/09(日) 入試：AO1期
- 10/09(日) 入試：吹奏楽特待AO1期
- 10/09(日) 入試：専門高校・総合学科特別AO
- 10/10(月) 休日授業日(体育の日)
- 10/10(月) 大学体験見学会
- 10/12(水) 振替休日(10/10：休日授業日分)
- 10/12(水) 全館停電
- 10/21(金) 学園祭(準備日)
- 10/22(土) 学園祭(一般公開)
- 10/23(日) 学園祭(一般公開)
- 10/24(月) 学園祭(片付け日)

11月

月	火	水	木	金	土	日
	1 授業	2 授業	3 文化の日	4 授業	5 授業 公開講座	6
7 授業	8 授業	9 授業	10 授業	11 授業	12 授業 公開講座	13 推薦1期 社会人特別
14 授業	15 授業	16 授業	17 授業	18 授業	19 授業 公開講座	20
21 授業	22 授業	23 勤労感謝の日	24 授業	25 授業	26 授業	27
28 授業	29 授業	30 授業				

- 11/05(土) 公開講座
- 11/12(土) 公開講座
- 11/13(日) 入試：推薦1期(指定校・公募)
- 11/13(日) 入試：社会人特別
- 11/19(土) 公開講座

12月

月	火	水	木	金	土	日
			1 授業	2 授業	3 授業	4
5 授業	6 授業	7 授業	8 授業	9 授業	10 授業	11 AO・推薦2期
12 授業	13 授業	14 授業	15 授業	16 授業	17 授業	18
19 授業	20 授業 人文系試験場	21 授業	22 授業	23 天皇誕生日	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 12/04(日) OSCE本試験(薬学4年)
- 12/11(日) 入試：AO2期
- 12/11(日) 入試：吹奏楽特別AO2期
- 12/11(日) 入試：推薦2期(公募)
- 12/20(火) 人文学部卒業論文提出日
- 12/27~1/5 年末年始休暇

1月(2017年)

月	火	水	木	金	土	日
						1 元日
2 振替休日	3	4	5	6 授業	7 授業	8
9 成人の日	10 授業	11 授業	12 授業	13 DNC準備	14 DNC	15 DNC
16 授業	17 授業	18 授業	19 授業	20 授業	21 授業 CBT	22
23 授業	24 試験・補講	25 試験・補講	26 試験・補講	27 試験・補講	28 試験・補講	29
30 試験・補講	31					

- 01/13(金) 大学入試センター試験準備
- 01/14(土) 大学入試センター試験
- 01/15(日) 大学入試センター試験
- 01/21(土) CBT本試験(薬学4年)
- 01/26(木) 入試：一般1期
- 01/28(土) 実務実習報告会(薬学5年)

2月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2 消防点検	3 消防点検	4	5
6	7	8	9	10 成績報告会 (卒業見込)	11 建国記念の日	12
13 大学院入試	14	15 OSCE再試	16	17 一般2期	18	19
20 成績報告会 (継続見込)	21	22 卒業判定	23 卒業発表	24	25	26
27	28					

- 02/02(木) 消防設備点検【ベル鳴動】
- 02/03(金) 消防設備点検【ベル鳴動】
- 02/10(金) 後期成績報告会切(卒業見込)
- 02/13(月) 入試：大学院推薦2期・一般2期
- 02/15(水) OSCE再試験(薬学4年)
- 02/17(金) 入試：一般2期
- 02/20(月) 後期成績報告会切(進級見込)
- 02/22(水) 卒業判定会議(教授会)
- 02/23(木) 卒業合否発表

3月

月	火	水	木	金	土	日
		1 卒業合否通知 自己推薦	2	3	4 CBT再試	5
6	7 進級判定	8	9	10 成績通知	11 FDSD研修会	12
13	14	15	16	17	18	19
20 章分の日 学位授与式	21	22	23	24	25	26 OPEN CAMPUS
27	28	29	30	31		

- 03/01(水) 卒業合否通知
- 03/01(木) 入試：自己推薦
- 03/04(土) CBT再試験(薬学4年)
- 03/07(火) 進級判定会議(教授会)
- 03/10(金) 後期成績通知(進級見込)
- 03/11(土) 第2回全学FD-SD研修会
- 03/20(月) 学位記授与式
- 03/26(日) オープンキャンパス

授業
試験・補講
行事

■学則

▼[いわき明星大学学則\(2016年4月1日施行\) <平成28年度入学者用>](#)

2) 学生データ

■平成28年度 学位授与数

学部(学科)	人数
科学技術学部 (科学技術学科)	41
人文学部	97
(表現文化学科)	(31)
(現代社会学科)	(27)
(心理学科)	(39)
薬学部(薬学科)	60
学部合計	198
研究科(専攻)	人数
理工学研究科	0
(物質理学専攻)	(0)
(物理工学専攻)	(0)
人文学研究科	3
(日本文学専攻)	(0)
(英米文学専攻)	(0)
(社会学専攻)	(1)
(臨床心理学専攻)	(2)
研究科合計	3
総合計	201

■国家試験、公務員等の合格実績

○薬剤師国家試験の合格率

【在校生】	
受験者：在校生 (A)	60 人
合格者 (B)	58 人
合格率 (B/A)	96.67%
【卒業生】	
受験者：卒業生 (C)	1 人
合格者 (D)	1 人
合格率 (D/C)	100%
【全体】	
受験者：全体 (A+C)	61 人
合格者 (B+D)	59 人
合格率 (B+D) / (A+C)	96.72%

○公務員合格者数

公務員 計3名 (一関市役所1、福島県警2)

○日経 225 企業採用者数

日経 225 計5名 (東電HD2、損保ジャパン2、野村証券1)

○進学率

平成 28 年度の進学率は、科学技術学部 2.4 %、人文学部 2.0% (うち心理学科 2.0%)、薬学部 1.7%、全体で 2.0%でした。

<主な進学先>

いわき明星大学大学院 (物質理学研究科、臨床心理学研究科、博士課程物質理工学研究科)

■資格取得状況

○薬剤師 : 59 名 (合格率 : 96.72%)

○中学校教諭一種免許状 (理科) : 4 名

○中学校教諭一種免許状 (国語) : 4 名

○中学校教諭一種免許状 (英語) : 2 名

○中学校教諭一種免許状 (社会) : 3 名

○高等学校教諭一種免許状 (理科) : 5 名

○高等学校教諭一種免許状 (国語) : 5 名

○高等学校教諭一種免許状 (英語) : 2 名

○高等学校教諭一種免許状 (地理歴史) : 1 名

○高等学校教諭一種免許状 (公民) : 4 名

○小学校教諭二種免許状 : 3 名

○社会教育主事 : 1 名

○図書館司書 : 7 名

○学芸員 : 3 名

■休退学状況

◆平成 28 年度退学者 (理由別集計) ◆

科学技術学部	(人)
①就学意欲の低下	
②進路変更 (他大学・専門学校進学)	1
③進路変更 (就職)	3
④学力不足 (留年)	1
⑤経済的困窮 (除籍含む)	3
⑥身体疾患	1
⑦心神耗弱	
⑨その他 (一身上の都合)	2
計	11

薬学部	(人)
①就学意欲の低下	1
②進路変更 (編入等)	7
③就職	1
④学力不足	4
⑤経済的困窮	5
⑥身体疾患	4
⑦心神耗弱	
⑧その他	5
計	27

人文学部	(人)
①就学意欲の低下	
②進路変更（編入等）	3
③就職	3
④学力不足	2
⑤経済的困窮	5
⑥身体疾患	4
⑦心神耗弱	1
⑧その他	4
計	22

教養学部	(人)
①就学意欲の低下	
②進路変更（編入等）	2
③就職	
④学力不足	
⑤経済的困窮	1
⑥身体疾患	
⑦心神耗弱	
⑧その他	
計	3

○平成 27 年度休学者

H28

学部学科学年別 休学者数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	休学率(学科)
科学技術学部	科学技術学科		1	1	2			4	3.7%
	小計		1	1	2			4	3.7%
人文学部	表現文化学科							0	0%
	現代社会学科		1	1	1			3	5.0%
	心理学科		3	2				5	4.3%
	小計		4	3	1			8	3.1%
薬学部	薬学科	8	2		1			11	2.8%
	小計	8	2		1			11	2.8%
教養学部	地域教養学科	3	1					4	2.1%
	小計	3	1					4	2.1%
計		11	8	4	4	0	0	27	2.8%

※休学率は3/1学生数949名：科技107名・表現79名・現社60名・心理115名・薬394名・教養194名で算出

H28

学部別休学理由

	科技	人文	教養	薬	大学院	計
①就学意欲の低下						0
②進路変更（他大学/専門学校進学/本学へ転部転科）				5		5
③進路変更（就職）						0
④学力不足（留年）		1		2		3
⑤経済的困窮	2	1				3
⑥体調不良（病気療養）	2	5	4	3		14
⑦心身耗弱		1		1		2
⑧一身上の都合						0
計	4	8	4	11	0	27

■転部転科状況

平成 28 年度の転部転科による他学部他学科への転出者は、薬学部から転出の 18 名です。転部転科率については、以下の通り。 * 学生数は、平成 28 年 5 月 1 日付 学生生徒等在籍状況

・薬学部からの転部転科による転出率（転部転科率）：8%

・薬学部からの学年別転部転科率

1 年生・・・8% 2 年生・・・12% 3 年生・・・3%

・薬学部からの転部転科先内訳

地域教養学科・・・100%

・平成 28 年度転部転科受入れ学科について

科学技術学科、表現文化学科、現代社会学科、心理学科の正規進級学年が 4 年生となり、転部転科の受入れがなくなった。

■進級状況

本学では、科学技術学部と人文学部、および教養学部において、2 年生から 3 年生、3 年生から 4 年生へ進級する際に、また薬学部においてはすべての学年へ進級する際に進級判定を行っています。進級判定の基準は、学生の入学した年度の履修の手引きに掲載されており、判定基準に満たない者や休学者は留年となります。平成 28 年度の進級率は表 1 の通りです。

表 1

■平成 28 年度 進級合格者<5 年生から 6 年生>

学科名	進級率
薬学科	93.75%

■平成 28 年度 進級合格者<4 年生から 5 年生>

学科名	進級率
薬学科	89.19%

■平成 28 年度 進級合格者<3 年生から 4 年生>

学科名	進級率
科学技術学科	94.83%
表現文化学科	82.93%
現代社会学科	95.83%
心理学科	87.93%
薬学科	68.33%
合計	84.65%

■平成 28 年度 進級合格者<2 年生から 3 年生>

学科名	進級率
科学技術学科	50.00%
地域教養学科	94.57%
表現文化学科	0.00%
現代社会学科	40.00%
心理学科	27.27%
薬学科	65.71%
合計	75.54%

■平成 28 年度 進級合格者<1 年生から 2 年生>

学科名	進級率
薬学科	76.19%

■学習行動調査

▼「平成28年度学修行動調査報告書」

■成績分布

平成28年度の学部ごとの成績分布は、次の通りです。

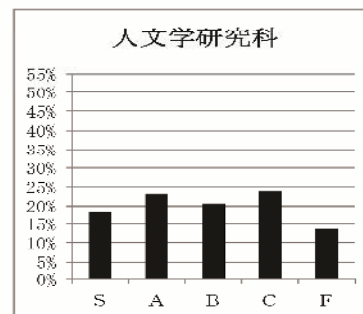
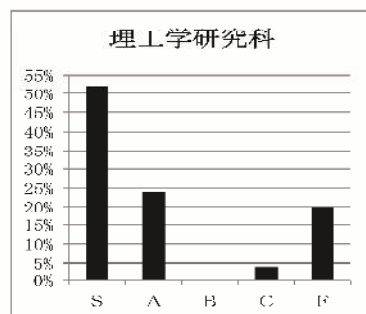
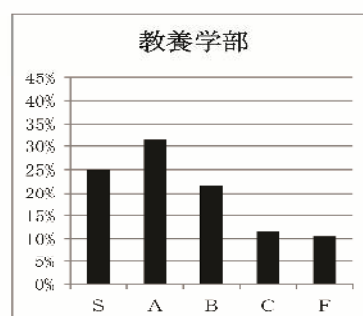
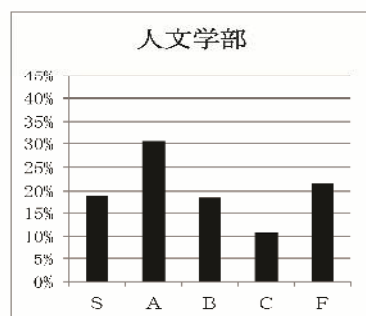
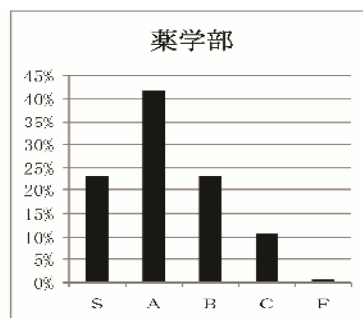
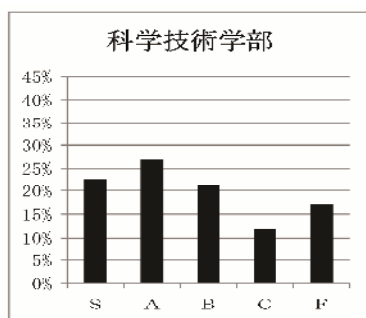
(集計の対象は、平成28年度末時点で在籍していた学生です)

○集計方法

- ・平成28年度に確定した成績のみを対象とする。
※平成27年度までに確定した成績は、集計の対象外とする。
- ・学部、研究科ごとに、所属する学生の成績のみを集計する。
※専門教育科目、全学共通教育科目等の区別はしない。

○成績の記号

S (秀)	100点～90点
A (優)	89点～80点
B (良)	79点～70点
C (可)	69点～60点
F (不可)	59点以下 (不合格)



■平成 28 年度 GPA について

学科別 GPA 平均値

学科名	科学技術学科	表現文化学科	現代社会学科	心理学科	地域教養学科	薬学科
G P A 平均値	2.4	2.4	2.0	2.3	2.5	2.4

※GPA 平均値は、学生の累計 GPA 値を学科別・全学年を対象に平均した値

■ジェネリックスキル調査

本学では、ジェネリックスキル（社会人基礎力）を測定・数値化する PROG テストを実施しています。

薬学部 薬学科 1 年生 78 名 4 月 12 日実施

3 年生 53 名 11 月 13 日実施

4 年生 34 名 11 月 13 日実施

教養学部 地域教養学科 1 年生 100 名 4 月 11 日実施

■学生満足度

▼[2016年度 いわき明星大学学生生活実態調査〔報告書〕](#)

■学内スクール受講者数

学修総合支援センター学修総合支援センター（Center for Learning Assistance and Support Services：通称 CLASS）の IMU ビジネスカレッジは、キャリアアップをサポートする正課外の学内スクールとして、下記の専門の講座を開講しています。また、講師は各々の資格取得に豊富なノウハウを持つ本学教員や外部講師がその指導にあたっています。特に、平成 28 年度は、IMU ビジネスカレッジ部門から公務員養成部門を独立させ、人材育成の目標により即した支援体制を築きました。

1. 公務員試験対策講座：13 名
2. MOS 検定試験対策講座：103 名
 - (1) Word2013 20 名
 - (2) Excel2013 59 名
 - (3) Powerpoint2013 24 名
3. 日商簿記検定試験対策講座（2・3 級）：16 名
4. 小論文対策講座 11 名
5. 面接対策講座 11 名
6. 数的処理対策講座 55 名
7. 就職準備講座 13 名

■課外活動状況

○学友団体

- ・委員会（6 団体） 91 名
- ・体育団体（12 団体） 131 名
- ・文化団体（10 団体） 130 名
- ・愛好会（11 団体） 131 名

39 団体 計 483 名（のべ）

○吹奏楽団 38 名

○ボランティアセンター 登録者 74 名

合計 595 名（のべ）

3) 教職員データ

男女比（教職員+非常勤講師）

	男性	女性	合計
教職員（パート・役員含）	106	69	175
非常勤講師	58	14	72
合計	164	83	247

客員研究員除く（男性2名・女性1名）

年齢構成

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計人数
教職員（パート・役員含）	8	31	55	39	40	2	175
非常勤講師	0	6	13	21	30	2	72
合計	8	37	68	60	70	4	247

教員の職位

教授	准教授	助教	講師	特別教授	特任教授	特任准教授	常勤准教授	客員教授
46	24	10	3	2	3	1	1	3

非常勤講師	客員研究員	合計
72	3	75

総計
170

4) 会議データ

■ 学内委員会関係

本学では、教学に関する管理運営を適切に行うため、いわき明星大学学則および諸規程において、以下の会議体等の設置を定め、大学運営に関する審議等を行っている。

また、本学では教学担当の副学長を配置し、教育および学生の学修支援に関する学長の職務を補佐する体制をとっている。

(1) 大学評議会

- ① 大学評議会は、学長、副学長、学部長、大学院研究科長、図書館長、地域連携センター長、心理相談センター長、学修総合支援センター長、学部所属教授各2名をもって組織する。
- ② 学長は、大学評議会を招集し、その議長となる。
- ③ 大学評議会は学長の諮問に応じて、以下の事項を審議する。
 - 教育、研究に関する全学的重要事項
 - 学則その他重要な規則に関する全学的共通事項
 - 学生の厚生補導およびその身分の基準に関する事項
 - 全学共通教育科目および全学的な資格科目に関する事項
 - その他必要と認められる事項

【開催状況】

第1回	平成28年4月13日
第2回	平成28年5月18日
第3回	平成29年3月8日

(2) 学部教授会

- ① 学部教授会は、当該学部に所属する専任の教授、准教授、講師、助教をもって組織します。
- ② 学部長は、教授会を招集し、その議長となります。
- ③ 教授会は、当該学部に関わる以下の事項について審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとします。
 - 学生の入学および卒業に関する事項
 - 学位の授与に関する事項
 - その他、教育研究に関する重要な事項で、学長が定める事項

【開催状況】

教授会開催日

科学技術学部	教養学部 ^(*)	薬学部
定例 11回 臨時 1回	定例 11回 臨時 1回	定例 11回 臨時 5回
4月26日	4月27日	4月23日
5月31日	5月25日	5月28日
6月29日	6月22日	6月25日
7月26日	7月27日	7月23日
9月26日	9月28日	8月3日 臨時
10月25日	10月26日	9月24日
11月22日	11月30日	10月29日
12月20日	12月21日	11月26日
1月24日	1月25日	12月7日 臨時
2月22日	2月22日	12月24日
3月7日 臨時	3月7日 臨時	1月12日 臨時
3月28日	3月15日	1月28日
		2月7日 臨時
		2月22日
		3月7日 臨時
		3月18日

(*)人文学部教授会も兼ねる

研究科委員会開催日

理工学研究科	人文学研究科
定例 7回 臨時 1回	定例 11回 臨時 0回
4月27日	4月27日
6月22日	5月25日
7月27日	6月22日
9月8日 臨時	7月27日
11月30日	9月28日
12月21日	10月26日
2月13日 臨時	11月30日
2月22日	12月21日
3月15日	1月25日
	2月22日
	3月15日

(3) 学部長会

- ①学部長会は、学長、副学長、学部長、大学院研究科長、事務局長をもって構成する。学長が必要と認めたとき、他の教職員を加えることができる。
- ②学長は、学部長会を招集し、その議長となる。
- ③学部長会は、大学全体の運営に関する事項の連絡調整を行う。

【開催状況】

第1回	平成28年4月13日
第2回	平成28年5月18日
第3回	平成28年6月8日
第4回	平成28年7月13日
第5回	平成28年9月14日
第6回	平成28年10月10日
第7回	平成28年11月9日
第8回	平成28年12月14日
第9回	平成29年1月18日
第10回	平成29年2月8日
第11回	平成29年3月8日

(4) 委員会

1) 諮問委員会

諮問委員会は、学長が必要に応じて設置できる委員会として学則に規定されている。諮問委員会は学長が必要と認めた者で組織される。委員長は学長が指名し、委員長が委員会を招集し、議長となる。現在設置されている諮問委員会は以下のとおりである。

- 自己評価委員会
- 入試・広報委員会
- 教務委員会
- 学生生活委員会
- キャリア・就職委員会
- FD・SD委員会
- 大学入試センター試験実施委員会

2) 附属教育研究機関等の運営委員会

- 図書館運営委員会
- 地域連携センター運営委員会
- 心理相談センター運営委員会
- 保健管理センター運営委員会
- 学修総合支援センター運営委員会

3) 学内規程に基づく委員会

- 労働安全衛生委員会
- エコ推進委員会
- 個人情報運用管理委員会
- ハラスメント防止・対策委員会
- 薬用植物園運営委員会
- 遺伝子組換え生物等委員会
- いわき明星大学勤労奨学金選考委員会
- いわき明星大学奨学生選考委員会
- 動物実験委員会
- バイオセイフティ委員会
- 公開講座運営委員会
- 防火・防災管理委員会
- 不正防止計画推進委員会
- いわき明星大学研究倫理委員会
- 全学教育委員会

5) 教育活動

■優良教員

1. 顕彰種類

「優秀教育賞」

所属学部	氏名等
科学技術学部	佐々木 秀明
教養学部	小池 久恵
教養学部	大原 貴弘
教養学部	五十嵐 幸一
薬学部	坂本 直道
薬学部	江藤 忠洋

2. 顕彰内容

表彰状および副賞10万円の研究・教育費

3. 次点者

各学部の次点者（対象外者を除く）

所属学部	氏名等
科学技術学部	岩田 恵理
教養学部	中尾 剛
薬学部	金 容 必

■派遣講師

平成28年度(2016年度) 派遣講師一覧表

No.	派遣依頼先名・内容	委嘱先	委嘱先 分類	任期	役職	受任者	受任者 所属
1	平成28年度福島県理科研究活動講習会	福島県高等学校文化連盟 自然科学専門部	高校	H28.4.30	教授	梅村 一之	薬学
2	「こころと体の健康教室」	福島工業高等専門学校	高专	H28.4.22	助教	佐藤 拓	教養
3	平成28年度(第70回)県下小中学校音楽祭第2部「合奏」いわき地区大会審査員	いわき市小・中学校長会 連絡協議会	いわき市	H28.9.15 ~	特任教授	根本 直人	教養
4	平成28年度前期 北茨城市民大学講座 「心理学講座」(全5回)	北茨城市教育委員会 生涯学習課	北茨城市	H28.5.14 ~ H28.6.11	准教授	名取 洋典	教養
5	平成28年度社会福祉施設等職員初任者 基礎研修会	福島県社会福祉協議会 人材研修課	その他	H28.5.10 ~	教授	鎌田 真理子	教養
6	平成28年度福島県専任教員養成講習会 (全4回)	公益社団法人福島県看護協会	その他	H28.5.21 ~ H28.7.14	准教授	名取 洋典	教養
7	平成28年度認定看護管理者セカンドヘルス 教育課程	公益社団法人福島県看護協会	その他	H28.10.3	教授	窪田 文子	教養
8	平成28年度民生児童委員協議会会長研 修会	社会福祉法人福祉県社会福祉協議会 福島県民生児童委員協議会	その他	H28.6.3	教授	鎌田 真理子	教養
9	災害対策部会研修会	全国若手市議員の会 災害対策部会	その他	H28.4.21 ~	准教授	高木 竜輔	教養
10	関東甲信心理リハビリテーション連絡協議 会「山梨大会」	山梨心理リハビリテーシ ョン研究会	その他	H28.6.11 ~	教授	窪田 文子	教養
11	「児童生徒理解に生かす学校教育相談基 礎講座-発達課題と児童生徒理解-」	福島県教育センター 教育相談チーム	福島県	H28.7.22 ~	准教授	大島 典子	教養
12	平成28年度福祉事業の指導 (6回)	いわき市中央台飯野一 区区内会	その他	H28.5.13 ~ H29.2.10	教授	菊池 真弓	教養
13	インド電力産業企画経営コース 「リーダーシップ」	一般財団法人海外産業 人材育成協会	その他	H28.7.13 ~	教授	大嶋 淳俊	教養
14	第1期市民後見人養成講座(実務講座)	いわき市保健福祉課	いわき市	H28.6.18 ~	教授	鎌田 真理子	教養
15	平成28年度文部科学省委託「科学的な理 解をすすめる放射線教育」事業 放射線に関する教職員セミナー-放射線授業の講師	一般社団法人エネルギー・環境理科教育推 進研究所	その他	H28.5 ~ H29.3	特任教授	石川 哲夫	教養
16	いわき市薬剤師学術講演会	持田製薬(株)仙台支店 郡山事業所	その他	H28.6.17 ~	准教授	吉川 真一	薬学
17	出前講座	いわき市立山田公民館	その他	H28.7.8 ~	教授	松本 司	薬学
18	平成28年度いわき地区高等学校図書館 研究会 図書委員連合会の前期総会・研修会	いわき地区高等学校図 書館研究会	その他	H28.6.7 ~	准教授	松本 麻子	教養
19	内郷学講座 第6回「地域社会の変化」	いわき市内郷支所	いわき市	H28.10.15 ~	准教授	高木 竜輔	教養
20	平成28年度いわきヒューマンカレッジ (市民大学)健康福祉学部	いわきヒューマンカレッジ いわき市生涯学習プラザ	いわき市	H28.9.24 ~	教授	櫻井 映子	薬学
21	平成28年度いわきヒューマンカレッジ (市民大学)健康福祉学部	いわきヒューマンカレッジ いわき市生涯学習プラザ	いわき市	H28.10.1 ~	教授	村田 和子	薬学
22	平成28年度いわきヒューマンカレッジ (市民大学)健康福祉学部	いわきヒューマンカレッジ いわき市生涯学習プラザ	いわき市	H28.10.8 ~	准教授	住谷 賢治	薬学
23	平成28年度いわきヒューマンカレッジ (市民大学)健康福祉学部	いわきヒューマンカレッジ いわき市生涯学習プラザ	いわき市	H28.10.15 ~	教授	久米 美代子	
24	平成28年度いわきヒューマンカレッジ (市民大学)健康福祉学部	いわきヒューマンカレッジ いわき市生涯学習プラザ	いわき市	H28.10.29 ~	教授	古地 順子	
25	平成28年度いわきヒューマンカレッジ (市民大学)健康福祉学部	いわきヒューマンカレッジ いわき市生涯学習プラザ	いわき市	H28.11.5 ~	教授	鎌田 真理子	教養
26	平成28年度いわきヒューマンカレッジ (市民大学)健康福祉学部	いわきヒューマンカレッジ いわき市生涯学習プラザ	いわき市	H28.11.12 ~	教授	富田 新	教養
27	平成28年度広野町ふるさと創生大学 「東日本大震災からの地域再生を考える -復興に求められる視点-」	いわき市広野公民館	いわき市	H28.8.4 ~	准教授	高木 竜輔	教養
28	平成28年度茨城県弘道館アカデミー県民 大学「高齢化社会を楽しく生きる漢方の智 恵」	茨城県県北生涯学習セ ンター	日立市	H28.10.13 ~ H28.12.8	教授	松本 司	薬学
29	平成28年度福島県運営適正化委員会苦 情解決部会	福島県運営適正化委員 会苦情解決部会	その他	H28.6.27 ~	教授	鎌田 真理子	教養
30	いわき・ふれあい・ふくし塾 「地域福祉を学ぶ～地域包括ケアシステ ムの推進～」	いわき市社会福祉施設 事業団	いわき市	H28.8.27 ~	教授	鎌田 真理子	教養
31	出前講座「免疫の不思議」	白河市教育委員会	白河市	H28.10.16 ~	教授	村田 和子	薬学
32	出前講座「薬の正しい飲み方・使い方」	白河市教育委員会	白河市	H28.10.29 ~	准教授	吉川 真一	薬学

33	出前講座「漢方に学ぶ養生の秘訣」 全3回	いわき市立植田公民館	いわき市	H28.10.20 ~ H28.12.1	教授	松本 司	薬学
34	出前講座「ネットいじめの現状と小・中学校 における情報モラル教育」	いわき教育事務所	いわき市	H28.8.29 ~	教授	中尾 剛	教養
35	平成28年度主任介護支援専門員研修	一般社団法人福島県介 護支援専門員協会	その他	H28.7.13 ~	教授	鎌田 真理子	教養
36	いわき地区特別支援教育研究会教育セミ ナーⅡ課題別研修会	いわき地区特別支援教 育研究会	その他	H28.8.18 ~	教授	窪田 文子 山本 佳子	教養
37	子育て支援講演会「子どものネット環境に ついて」	いわき市ファミリー・サ ポートセンター	その他	H28.9.4 ~	教授	中尾 剛	教養
38	いわき福祉懇話会設立記念式典における 記念講演会	いわき福祉懇話会	その他	H28.6.25 ~	教授	鎌田 真理子	教養
39	いわき市立錦公民館 土曜学習 「大学の授業に挑戦しよう」	いわき市立錦公民館	いわき市	H28.8.4 ~	教授	中尾 剛	教養
40	大分ストーマリハビリテーション研究会 講義「ストーマリハビリテーションの基本」 「ショートレクチャー」	大分ストーマリハビリテ ーション研究会	その他	H28.7.23 ~	教授	山邊 素子	看護
41	平成28年度 地域公開講座 段階別研修	大分赤十字病院	その他	H28.9.17 ~	教授	山邊 素子	看護
42	高崎経済大学「教員免許状更新講習」 (情報処理技術の習得と活用)	高崎経済大学	その他	H28.8.11 ~	教授	山口 憲二	教養
43	明星大学人文学部「地域社会学」 原発事故と長期避難生活が地域社会に与 える影響について	明星大学人文学部	大学	H28.6.24 ~	准教授	高木 竜輔	教養
44	いわき市立勿来第一中学校 生徒支援に係るケース会議	いわき市立勿来第一中 学校	中学校	H28.5.19 ~	教授	鎌田 真理子	教養
45	薬物乱用防止教室	いわき市立平第二中 学校	中学校	H28.6.7 ~	教授	櫻井 映子	薬学
46	いわき市立湯本第三中学校 第1学年チャレンジデー(環境学習)	いわき市立湯本第三中 学校	中学校	H28.6.23 ~	特任教授	石川 哲夫	教養
47	薬物乱用防止教室	いわき市立勿来第一中 学校	中学校	H28.7.5 ~	教授	櫻井 映子	薬学
48	平成28年度「上級学校訪問」	郡山市立郡山第一中 学校	郡山市	H28.7.14 ~	教授	松本 司	薬学
49	第1学年「総合的な学修の時間」 体験学習「上級学校訪問」	いわき市立久之浜中 学校	いわき市	H28.9.14 ~		教務学生支援C 信田重成	
50	レギュラトリーサイエンス エキスパート研修 会認定コース 2016年度 薬害教育エキ スパート研修講座	一般財団法人医薬品医 療機器レギュラトリーサイ エンス財団	その他	H28.11.30	教授	山崎 勝弘	薬学
51	西郷単位制総合大学 見学研修 (震災による津波被害の状況と復興の現 状)	西郷村教育委員会 生涯学習課	西郷村	H28.9.28	准教授	高木 竜輔	教養
52	薬物乱用防止教室 (いわき光洋高校)	いわき地区薬物乱用防 止指導員協議会	高校	H28.10.6 ~	教授	櫻井 映子	薬学
53	薬物乱用防止教室 (いわき海星高校)	いわき地区薬物乱用防 止指導員協議会	高校	H28.12.12 ~	教授	櫻井 映子	薬学
54	「科目：産業社会と人間」におけるメディアリ テラシーについて	いわき総合高等学校	高校	H28.10.5	教授	中尾 剛	教養
55	学校訪問、キャリア学習 (熊本県立宇土高校)	熊本県立宇土高校	高校	H28.12.8	准教授	初見 康行	教養
56	見学学修 (好間第一小学校)	好間第一小学校	小学校	H28.9.23 ~	准教授	高橋 義考	教養
57	エネルギー教室	いわき市立郷ヶ丘小 学校	小学校	H28.9.7 ~	特任教授	石川 哲夫	教養
58	エネルギー教室	いわき市立小名浜第一 小学校	小学校	H28.8.30 ~	特任教授	石川 哲夫	教養
59	飲酒、喫煙、薬物乱用防止に関する指導	いわき市立宮小学校	小学校	H28.11.4	教授	櫻井 映子	薬学
60	電子タバコについての解説、未成年者への 影響等に関する講話	久ノ浜第二小学校	小学校	H29.1.25	講師	瀬戸 愛子	看護
61	飲酒、喫煙、薬物乱用防止に関する指導	仙台市立通町小学校	小学校	H29.2.6	教授	櫻井 映子	薬学
62	まなびすとの集い2016(東日本大震災の 社会学～浜通りの復興を目指して～)	北茨城市教育委員会 生涯学習課	北茨城市	H28.5.7	准教授	高木 竜輔	教養
63	平成28年度思春期子育て講座 「インターネット依存傾向とSNS疲れ」	原町生涯学習センター	原町	H28.11.5 ~	准教授	名取 洋典	教養
64	第23回いわき計測展における講演 「ロボット競技大会で学ぶ」	いわき市計量管理協会	その他	H28.11.16 ~	准教授	高橋 義考	教養

65	市民講座 ことぶき文化学園 「薬の正しい飲み方・使い方」	中央公民館	いわき市	H28.11.2	～	准教授	吉川 真一	薬学
66	平成28年度就学時健診子育て講座 (南相馬市立鹿島小学校)	南相馬市 市民生活部文化スポーツ課	南相馬市	H28.10.7	～	講師	鈴木 祐子	看護
67	平成28年度就学時健診子育て講座 (南相馬市立太田小学校)	南相馬市 市民生活部文化スポーツ課	南相馬市	H28.10.13	～	講師	瀬戸 愛子	看護
68	平成28年度就学時健診子育て講座 (南相馬市立原町第一小学校)	南相馬市 市民生活部文化スポーツ課	南相馬市	H28.10.14	～	教授	久米 美代子	看護
69	出前講座「将来を見据えた環境エネルギー」	常陸太田市 生涯学習センター	常陸太田市	H28.11.17	～	特任教授	石川 哲夫	教養
70	平成28年度全道児童委員活動研究集会 基調講演	公益財団法人北海道 民生委員児童委員連携	その他	H28.8.23	～	教授	鎌田 真理子	教養
71	いわき市健康増進事業「高血圧教室」	いわき市 常磐・遠野地区保健福祉センター保健係	いわき市	H28.10.6	～	教授	窪田 文子	教養
72	ホームスタート北海道・東北エリア協議会 「研修交流会」	ホームスタート北海道・ 東北エリア協議会	その他	H28.9.10	～	教授	窪田 文子	教養
73	平成28年度福島県青少年総合相談センター・ ひきこもり支援センター 第1回スーパーヴァイズ	福島県青少年総合相談センター	その他	H28.9.29	～	教授	山本 佳子	教養
74	第46回大分ストーマリハビリテーション研究会 「損傷ケアセミナー」の運営協力	大分ストーマリハビリテーション研究会	その他	H28.10.15	～	教授	山邊 素子	看護
75	登録販売者生涯学習研修会	千葉県医薬品登録販売者協会	その他	H28.9.22	～	講師	富岡 節子	薬学
76	出前講座「薬の正しい飲み方・使い方」	小名浜方部女性のつどい実行委員会	その他	H28.11.19	～	准教授	吉川 真一	薬学
77	登録販売者生涯学習研修会	千葉県医薬品登録販売者協会	その他	H28.11.23	～	講師	富岡 節子	薬学
78	出前講座「ストレスとうまくつきあってみませんか？」 (第3回 図書館くらしのセミナー)	いわき市立いわき総合図書館	いわき市	H29.2.8		准教授	大島 典子	教養
79	会津若松市民生児童委員協議会研修会 講師	会津若松市役所	会津若松市	H28.10.12		教授	鎌田 真理子	教養
80	アルゼンチンマネジメントセミナー	(一財)海外産業人材育成協会	その他	H28.10.25		教授	大嶋 淳俊	教養
81	がん予防・がん検診の集いへの講師	福島県保健福祉部 健康増進課	福島県	H28.10.22		教授	鎌田 真理子	教養
82	平成28年度福島県特別支援教育振興会 いわき支部主催講演会のフォーラムコーディネーター	福島県特別支援教育振興会 いわき支部	その他	H28.11.4		教授	鎌田 真理子	教養
83	平成28年度福島県青少年総合相談センター・ ひきこもり支援センター 第3回スーパーヴァイズ	福島県青少年総合相談センター	その他	H28.12.22		教授	山本 佳子	教養
84	出前講座:「ストレス」とうまくつきあってみませんか?	相馬市教育委員会	相馬市	H29.2.5		准教授	大島 典子	教養
85	平成28年度地域でつながる家庭教育応援事業 家庭教育応援プロジェクトいわき地区 フォローアップ研修の講師	福島県教育庁いわき教育事務所 総務社会教育課	福島県	H29.1.20		教授	鎌田 真理子	教養
86	第4回香川県吹奏楽指導者講習会講師	香川県吹奏楽連盟理事長	その他	H29.1.28		特任教授	根本 直人	教養
87	平成28年度いわきの復興を担う地域コミュニティ 重点支援事業政界報告会	福島県いわき地方振興局	福島県	H29.3.14		准教授	高木 竜輔	教養
88	ホームスタートスキルアップ研修	特定非営利活動法人 Commune with助産師	その他	H29.2.14		教授	窪田 文子	教養
89	第19回いわき地区障がい者就労支援セミナー 当事者発表及びシンポジウムのコーディネーター	いわき市障がい者懇親会	その他	H29.2.25		教授	山本 佳子	教養
90	アフリカものづくり管理研修コース	一般財団法人海外産業人材育成協会	その他	H29.2.27		教授	大嶋 淳俊	教養
91	タイリーダースhip研修コース	一般財団法人海外産業人材育成協会	その他	H29.3.13	～ H29.3.24	教授	大嶋 淳俊	教養
92	平成28年度 いわき市ボランティアフェスティバルの講演	社会福祉法人いわき市 社会福祉協議会	その他	H29.3.18		教授	鎌田 真理子	教養
93	母子健康相談(心理個別相談)	いわき市	いわき市	H30.2.16	、 H30.3.12	教授	窪田 文子	教養
94	神戸常盤大学教学マネジメント改革に資する 研修会	神戸常盤大学	大学	H28.4.9	～	教授	中越 元子	薬学
95	平成28年度 横浜薬科大学 FDおよびSD研修のための講演	横浜薬科大学	大学	H28.8.20	～	教授	中越 元子	薬学
96	北九州市立大学 文学部比較文化学科 専門教育科目「日本文学概論」の講師	北九州市立大学	大学	H29.1.5		准教授	松本 麻子	教養
97	上級学校訪問 (槽葉町槽葉中学校)	槽葉中学校	槽葉町	H28.9.7	～	客員教授	平塚 大輔	教養

H28年度 出前講座進捗状況一覧

No	日 付	高校名	学 部	学 科	担当教職員	対象学年	備 考
1	4月29日	長沼	教養	地域教養	初見康行	全	PTA総会・全学総会
2	6月3日	石川（県立）	教養	地域教養	初見康行	全	進路講演会
3	4月23日	平工業	事務局		西村睦子	2	進路講演会
4	6～7月	湯本	教養	地域教養	首野昌史	全	進学権に関する講演会
5	7月4日	翔洋学園水戸校	教養	地域教養	玉懸元	全	日本語に関する内容
5	7月7日	翔洋学園水戸校	教養	地域教養	大津理香	全	英語に関する内容
6	4月12日	ふたば未来学園	教養	地域教養	初見康行	全	教養キャリア教育
7	4月12日	ふたば未来学園	教養	地域教養	佐原太一郎	全	教養キャリア教育
8	7月12日	翔洋学園いわき校	教養	地域教養	川井一枝	全	英語に関する内容
9	8月3日	勿来工業	教養	地域教養	石川哲夫	教員	放射線に関する話
10	6月9日	平商業	教養	地域教養	佐原太一郎	2	教養に関する模擬授業
11	6月17日	福島明成	教養	地域教養	大原貴弘	2	教養に関する模擬授業
12	10月21日	湯本	教養	地域教養	大津理香	2	英語教育系
13	7月13日	いわき総合	教養	地域教養	大原貴弘	1	意識と無意識の心理学
14	7月13日	いわき総合	薬	薬	松本司	1	薬学入門講座～漢方に学ぶ健康の知恵～
15	12月8日	東北生活文化大学	薬	薬	永田隆之	2	体験型授業
16	9月21日	翔洋学園土浦校	教養	地域教養		1～3	英語に関する内容 ※実施せず
17	9月8日	相馬東	薬	薬	永田隆之	1	体験型授業
18	10月15日	会津	教養	地域教養	高島翠	1	心理学
19	11月17日	いわき光洋	薬	薬	松本司	2	薬学への誘い～生薬・漢方薬～
20	10月19日	勿来工業	教養	地域教養	人島典子	教員	ストレスマネジメント
21	11月9日	日立第一	教養	地域教養	大原貴弘	2	教養に関する模擬授業
22	1月26日	長沼	教養	地域教養	田中美和	1	自己理解と他者理解ー私のコミュニケーションスタイル
23	11月25日	翔洋学園水戸校	教養	地域教養	松本麻子	全	日本語に関する内容
24	12月6日	翔洋学園水戸校	教養	地域教養	川井一枝	全	英語に関する内容
25	11月9日	磐城第一	薬	薬	金容必	2	体験型授業
26	12月14日	小野	教養	地域教養	菊池武	1	語学について
27	1月26日	長沼	教養	地域教養	田中美和	1	コミュニケーションについて
28	11月9日	磐城第一	教養	地域教養	福田幸夫	2	体験型授業
29	1月19日	多賀	看護	看護	古地順子	2	体験型授業
30	1月27日	磐城農業	看護	看護	木村奈緒	2	体験型授業
31	3月8日	石川（私立）	看護	看護	鈴木祐子	1・2	体験型授業
32	3月8日	石川（私立）	教養	地域教養	大津理香	1・2	体験型授業

■授業改善アンケート

- ▼[科学技術学科（前期）](#) ▼[科学技術学科（後期）](#)
- ▼[地域教養学科（前期）](#) ▼[地域教養学科（後期）](#)
- ▼[薬 学 科（前期）](#) ▼[薬 学 科（後期）](#)

6) 社会貢献活動

■外部委員・講師一覧

▼[科学技術学部](#)・[教養学部](#)・[薬学部](#)

7) 研究活動

■外部資金採択状況

学部学科	研究者	研究課題・業務内容	委託先	金額
教養学部 地域教養学科	石丸 純一	震災メモリアル事業(アーカイブ)所在調査業務	いわき市	8,505,200
教養学部 地域教養学科	大島 淳俊	大学等と地域の連携した「まち・ひと・しごと」創生推進事業 『いわき明星大学 地域連携 PBL による“まち・ひと・しごと”活性化』	いわき市	2,328,959
科学技術学部 科学技術学科	中尾 剛	いわき地域における UHF 帯デジタル通信の有効性および災害発生時の運用に関する研究	株式会社 フタバパーツ	昨年度からの継続
人文学部 心理学科	山本 佳子	こころのケア事業	警察共済組合 福島県支部	5,000
人文学部 心理学科	山本 佳子	ふくしま教職員こころのケア事業	公立学校共済 組合福島支部	171,000
人文学部 心理学科	山本 佳子	H28 年度教職員メンタルヘルスカウンセリング事業	福島県教育 委員会	0
人文学部 心理学科	窪田 文子	こころのケア連携事業業務	いわき市教育 委員会	563,760
人文学部 心理学科	山本 佳子	「心理相談」事業委託(いわき市職員に対する心理相談)	いわき市	2,000

平成 28 年度 補助事業一覧

学部学科	研究者	事業内容	補助事業者	金額
科学技術学部 科学技術学科	鈴木 裕宣	地域イノベーション戦略支援プログラム 「再生可能エネルギー先駆けの地ふくしまイノベーション戦略推進地域」	文部科学省	11,990,000
教養学部 地域教養学科	土谷 幸久	福島県学術教育振興財団助成対象事業 いわき市・福島県の中堅・優良企業の強みの研究	福島県学術教育 振興財団	519,014

■外部発表・研究紀要

▼[科学技術学部](#) ▼[人文学部](#)・[教養学部](#) ▼[薬学部](#)

8) FD・SD 研修

■全体研修

平成 28 年度 第 1 回全学 FD・SD 研修会

日 程：9 月 9 日（金）

テーマ：「いわき地域で必要とされる大学になるための具体的展開」

参加率：84.2%

平成 28 年度 第 2 回全学 FD・SD 研修会

日 程：3 月 11 日（土）

テーマ：「深い学びにつながるアクティブラーニング型授業実践に向けて」

参加率：87.8%

■学部別研修

≪教養学部≫

1 月 31 日 第 1 回教養学部 FD

「いわき明星大学教養学部における二年次教育の共有化」

参加率：93%

≪薬学部≫

9 月 24 日 第 1 回薬学部 FD

「『三つのポリシー』を踏まえた薬学教育の実践～社会のニーズに応える薬剤師の養成に向けて」

参加率：85.7%

2 月 22 日 第 2 回薬学部 FD

「6 年制薬学教育評価（第三者評価）への対応・対策を考える」

参加率：100%

≪職員勉強会≫

6 月 16 日 MB0 発表大会（人事・財務・管理・学長室・教学・アドミ・キャリア・地域連携 C）

講師：各センター長

7 月 05 日 今年度勉強会の概要・スタッフ・ポートフォリオ作成

講師：関根

7 月 19 日 スタッフ・ポートフォリオ作成

講師：関根

9 月 06 日 スタッフ・ポートフォリオに基づいたコミュニケーション実践

講師：関根

9 月 20 日 大学職員としての将来像について

講師：関根

10 月 04 日 リーダーシップ理論、リーダーシップスタイル（1）

講師：荒井事務局長

10月18日 リーダーシップ理論、リーダーシップスタイル（2）

講師：荒井事務局長

11月15日 各部署で求められる職員像について①

講師：関根

11月29日 各部署で求められる職員像について②

講師：関根

12月13日 各部署で求められる職員像について③

講師：関根

9) 施設・設備

■施設貸出一覧

平成 28 年 4 月 1 日	檜葉町町長選挙期日前投票所(4/1~4/30)
平成 28 年 4 月 8 日	いわき FC トレーニング(4/8、4/14、4/20、5/11、5/18)
平成 28 年 4 月 10 日	東北みちのくリーグ U-15
平成 28 年 4 月 16 日	檜葉町サッカー教室
平成 28 年 4 月 24 日	Initio Tohoku MISSION いわき交流会
平成 28 年 4 月 29 日	東北みちのくリーグ U-15
平成 28 年 4 月 30 日	第7回いわき民報カップいわき市中学生春季サッカー大会
平成 28 年 5 月 1 日	2016 東北社会人サッカーリーグ(バンディッツいわきホームゲーム)
平成 28 年 5 月 3 日	高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 2016 福島県リーグ
平成 28 年 5 月 4 日	いわき明星大学サッカーOB 会
平成 28 年 5 月 7 日	第7回いわき民報カップいわき市中学生春季サッカー大会
平成 28 年 5 月 8 日	東北みちのくリーグ U-15
平成 28 年 5 月 14 日	檜葉町サッカー教室
平成 28 年 5 月 15 日	2016 東北社会人サッカーリーグ(バンディッツいわきホームゲーム)
平成 28 年 5 月 17 日	平成 28 年度第1回危険物取扱者試験受験準備講習会
平成 28 年 5 月 22 日	いわき市消防団 予防担当者研修・班長科研修
平成 28 年 5 月 28 日	翔洋学園高等学校スクーリング
平成 28 年 5 月 29 日	第 35 回いわき子どもまつり
平成 28 年 6 月 5 日	いわき FC 練習試合
平成 28 年 6 月 5 日	東北みちのくリーグ U-15(アストロンホームゲーム)
平成 28 年 6 月 7 日	いわき地区高等学校図書館研究会 図書委員連合会前期総会・研修会
平成 28 年 6 月 11 日	いわき市スポーツ大会テニス競技 少年の部(6/11、6/12)
平成 28 年 6 月 11 日	高円宮杯U-18 サッカーリーグ 2016 福島県リーグ
平成 28 年 6 月 12 日	いわき明星大学同窓会薬学支部(磐薬会)平成 28 年定期総会
平成 28 年 6 月 16 日	安全運転管理者講習会(事業者に対する法定講習会) (2016/6/16、7/21、8/5、9/5、10/5、11/11、12/9、2017/2/8)
平成 28 年 6 月 18 日	いわき明星大学同窓会平成 28 年度定期総会
平成 28 年 6 月 19 日	飯野地区親善球技大会
平成 28 年 6 月 20 日	事業所献血の実施について
平成 28 年 6 月 25 日	翔洋学園高等学校スクーリング
平成 28 年 6 月 25 日	平成 28 年度 実務研修会(6/25、6/26)
平成 28 年 6 月 25 日	高円宮杯U-18 サッカーリーグ 2016 福島県リーグ
平成 28 年 6 月 26 日	檜葉町サッカー教室
平成 28 年 6 月 30 日	平成 28 年度第1回防火管理講習(6/30、7/1)

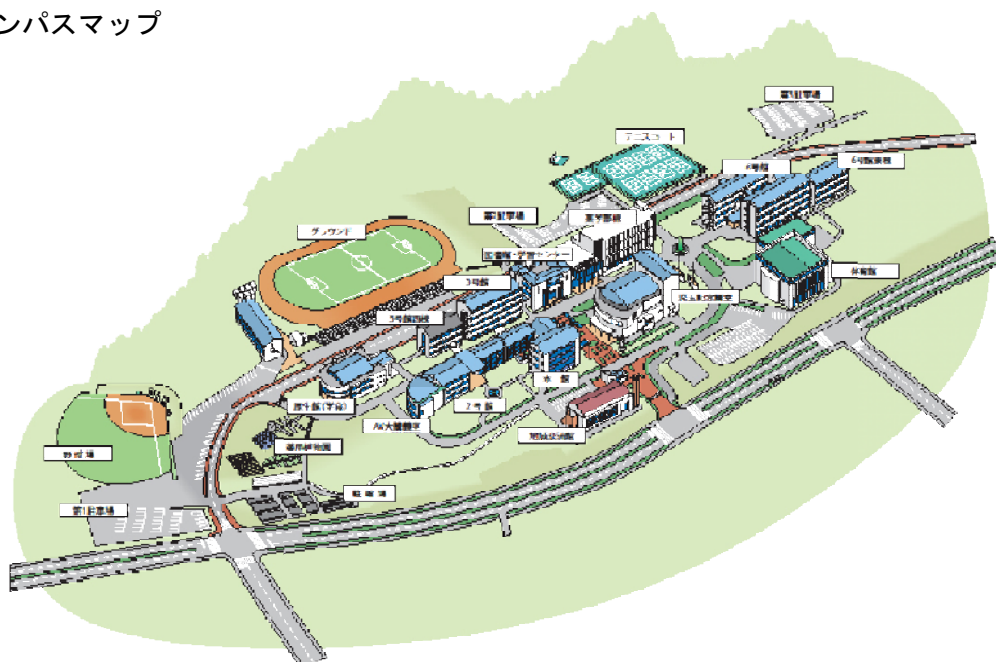
平成 28 年 7 月 2 日	福島大学教員免許状更新講習(7/2、7/3)
平成 28 年 7 月 10 日	第 39 回福島県少年野球選手権大会いわき地区大会
平成 28 年 7 月 16 日	高円宮杯U-18 サッカーリーグ 2016 福島県リーグ
平成 28 年 7 月 17 日	檜葉町サッカー教室
平成 28 年 7 月 20 日	鹿島学園高等学校 スクーリング(全6回 7/20、7/27、12/14、12/21、3/1、3/8)
平成 28 年 7 月 22 日	いわき FC トレーニング
平成 28 年 7 月 22 日	いわきおどり 練習会(7/22、7/27)
平成 28 年 7 月 23 日	翔洋学園高等学校スクーリング
平成 28 年 7 月 23 日	高円宮杯U-18 サッカーリーグ 2016 福島県リーグ
平成 28 年 7 月 24 日	Super Sports XEBIO presents 3×3 GAME.EXE in Fukushima 2016
平成 28 年 7 月 29 日	第3回 WBSC U-15 ベースボールワールドカップ 2016 in いわき(7/29～8/7)
平成 28 年 7 月 30 日	第 5 回 TCY 復興支援サッカーフェスティバル(U-15)(7/30、7/31)
平成 28 年 8 月 3 日	いわき FC トレーニング
平成 28 年 8 月 4 日	猪股杯ソフトテニス大会
平成 28 年 8 月 6 日	国体プレ大会(磐城高校サッカー部)(8/6、8/7)
平成 28 年 8 月 6 日	富岡町市政懇談会(8/6、8/7)
平成 28 年 8 月 6 日	第 20 回ソフトテニスフェスタ in いわき 2016(8/6、8/7)
平成 28 年 8 月 6 日	第 20 回ソフトテニスフェスタ in いわき 2016(8/6、8/7)
平成 28 年 8 月 9 日	いわき光洋高等学校テニス部主催の大会
平成 28 年 8 月 10 日	2016 年度第2回全統マーク模試
平成 28 年 8 月 11 日	いわき明星大学同窓会薬学支部(磐薬会)H28 年度定期総会
平成 28 年 8 月 18 日	いわき地区特別支援教育研究会
平成 28 年 8 月 18 日	いわきサマーサッカーフェスティバル 2016
平成 28 年 8 月 19 日	いわき FC トレーニングおよび試合(8/19、8/20、8/22)
平成 28 年 8 月 27 日	高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 2016 福島県リーグ
平成 28 年 8 月 27 日	つくば開成高等学校 夏期集中スクーリング(8/27、8/28、8/29)
平成 28 年 8 月 28 日	檜葉町サッカー教室
平成 28 年 8 月 29 日	サテライト校における校歌の録音
平成 28 年 9 月 10 日	平成 28 年度「化学系学協会東北大会」(9/10、9/11)
平成 28 年 9 月 11 日	東北みちのくリーグ U-15
平成 28 年 9 月 11 日	どんぐりまつり
平成 28 年 9 月 11 日	元気UPプロジェクト親子体操イベント
平成 28 年 9 月 14 日	薬学連携研修会「院外処方せんへ記載される検査値について」勉強会
平成 28 年 9 月 17 日	自衛官採用試験(一般曹候補生、自衛官候補生)
平成 28 年 9 月 17 日	高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 2016 福島県リーグ
平成 28 年 9 月 18 日	いわき明星大学サッカー(ALWAYS)OB 会

平成 28 年 9 月 24 日	第 23 回福島NSTフォーラム
平成 28 年 9 月 24 日	ICT による災害支援技術研究会
平成 28 年 9 月 25 日	平成 29 年度(平成 28 年度実施)いわき市職員行政職(初級職)・専門職・社会人経験者枠採用候補者試験
平成 28 年 9 月 25 日	檜葉町サッカー教室
平成 28 年 10 月 1 日	ありす幼稚園運動会
平成 28 年 10 月 2 日	いわき市中学校新人体育大会サッカー競技
平成 28 年 10 月 8 日	第 4 回ふえすていばる絆&絆&絆 ちびっこ運動会
平成 28 年 10 月 9 日	中央台保育園運動会
平成 28 年 10 月 10 日	磐城桜が丘高等学校サッカー部男女サッカー部交流試合
平成 28 年 10 月 10 日	福島県高体連テニス専門部強化事業
平成 28 年 10 月 15 日	翔洋学園高等学校スクーリング
平成 28 年 10 月 15 日	檜葉町サッカー教室
平成 28 年 10 月 16 日	平成 28 年大熊町町政懇談会
平成 28 年 10 月 18 日	薬業学連携研修会「院外処方せんへ記載される検査値について Part2」
平成 28 年 10 月 23 日	いわき明星大学同窓会「第6回ホームカミングデー」
平成 28 年 10 月 23 日	高体連テニス大会(いわき光洋高校主幹)
平成 28 年 10 月 28 日	平成 28 年度福島県高等学校文化連盟自然科学専門部門いわき支部生徒理科研究発表会
平成 28 年 10 月 29 日	南中祭(合唱コンクール)
平成 28 年 11 月 3 日	第 15 回檜葉町町民号バス発着所として利用
平成 28 年 11 月 5 日	双葉高等学校休校記念式典
平成 28 年 11 月 5 日	ジュニアエコノミーカレッジ in いわき 2016
平成 28 年 11 月 10 日	磐城農業高校文化祭(磐農祭)
平成 28 年 11 月 12 日	いわき市市制施行 50 周年記念事業 「親子対抗いわきウルトラクイズ選手権大会」
平成 28 年 11 月 12 日	地域学総合講座 いわきサンシャイン学 (11/12、12/10、12/17)
平成 28 年 11 月 12 日	翔洋学園高等学校スクーリング
平成 28 年 11 月 12 日	檜葉町サッカー教室(11/12 ご使用分)
平成 28 年 11 月 19 日	第 29 回福島県高等学校生徒理科研究発表会(11/19、11/20)
平成 28 年 11 月 26 日	平成 28 年度福島県高等学校新人体育大会サッカー競技(11/26、11/27)
平成 28 年 11 月 27 日	第 15 回いわきマーチングフェスティバル
平成 28 年 12 月 3 日	看護研究発表会
平成 28 年 12 月 3 日	翔洋学園高等学校スクーリング
平成 28 年 12 月 4 日	第3回 いわき学童保育研究集会
平成 28 年 12 月 4 日	平成 28 年度いわきトレセン U-13・U-14・U-15 交流戦

平成 28 年 12 月 10 日	講演会・測定報告会
平成 28 年 12 月 10 日	檜葉町サッカー教室
平成 28 年 12 月 11 日	女子サッカーウインターフェスティバル
平成 28 年 12 月 14 日	いわき FC トレーニング
平成 28 年 12 月 16 日	OpenRTM(ロボットテクノロジーミドルウェア)講習会
平成 28 年 12 月 17 日	平成 28 年度 U-18 いわき地区サテライトカップ
平成 28 年 12 月 17 日	IWAKI WINTER CAMP 中学生バスケットボール大会(12/17、12/18)
平成 28 年 12 月 23 日	こどもバレーボール教室
平成 28 年 12 月 24 日	第 14 回いわき明星大学学長杯 高校生テニスフェスティバル in いわき(12/24、12/25)
平成 28 年 12 月 25 日	いわき明星大学同窓会薬学支部(磐薬会)役員会
平成 28 年 12 月 25 日	いわき地区内高校新人体育大会ラグビー競技大会(12/25~12/28)
平成 29 年 1 月 21 日	自衛官採用試験(一般曹候補生、自衛官候補生)
平成 29 年 1 月 21 日	富岡町住民説明会
平成 29 年 1 月 21 日	つくば開成高等学校 冬期集中スクーリング(1/21~1/23)
平成 29 年 1 月 22 日	磐城桜が丘高等学校サッカー部男女サッカー部交流試合
平成 29 年 1 月 25 日	調剤報酬特別研修会「平成 28 年度調剤報酬改定後の指導状況について」
平成 29 年 1 月 28 日	檜葉町サッカー教室
平成 29 年 1 月 28 日	福島県春季ジュニアシングルス大会 18 歳以下の部、16 歳以下の部
平成 29 年 1 月 29 日	ベガルタ仙台レディースこどもサッカー教室
平成 29 年 2 月 4 日	福島県小学生バレーボール新人大会
平成 29 年 2 月 4 日	薬学実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップ(2/4、2/5)
平成 29 年 2 月 4 日	サッカー交流試合(東北クラブ交流戦)(2/4、2/5)
平成 29 年 2 月 5 日	いわき光洋高等学校主催近隣高校国体に向けた強化大会
平成 29 年 2 月 5 日	中央台北中学校吹奏楽部第 12 回バレンタインコンサート時の駐車場として
平成 29 年 2 月 6 日	第 26 回東北高等学校新人ラグビーフットボール大会(2/6、2/7、2/9、2/10)
平成 29 年 2 月 7 日	東北高校ラグビー新人大会でのテント 10 張り貸出について(2/7~2/11)
平成 29 年 2 月 9 日	薬学連携研修会「在宅医療と薬剤師業務について」- 褥瘡編 -
平成 29 年 2 月 9 日	平成 28 年度第 2 回防火管理講習(2/9、2/10)
平成 29 年 2 月 11 日	第 3 回浜通り看護研究会 交流セミナー In いわき
平成 29 年 2 月 18 日	平成 28 年度 いわき明星大学エネルギー教育研究会 福島地区エネルギー教育ネットワーク会議
平成 29 年 2 月 18 日	いわき光洋高校主幹による他高校との学校対抗戦(2/18、3/5、3/12)
平成 29 年 2 月 18 日	平成 28 年度福島県 U-16 高校選抜大会(2/18、2/19、3/11、3/12)
平成 29 年 2 月 18 日	マルト海外旅行企画説明会
平成 29 年 2 月 19 日	ふくしま復興祈念特別演奏会

平成 29 年 2 月 25 日	磐城桜が丘高等学校サッカー部(男女サッカー部交流試合)(2/25、2/26)
平成 29 年 2 月 25 日	全国選抜大会に向けた近隣県合同大会(2/25、2/26)
平成 29 年 2 月 25 日	中央台バレーボールクラブ結成 20 周年記念交流大会(2/25、2/26)
平成 29 年 2 月 26 日	冬期第2回集中スクーリング
平成 29 年 2 月 26 日	第4回福島県管弦打楽器ソロコンテスト(予選・本選)(2/26、3/26)
平成 29 年 3 月 5 日	第 9 回スプリングコンサート
平成 29 年 3 月 7 日	いわき FC トレーニング(トレーニングルームのみ)
平成 29 年 3 月 12 日	パンダハウスを育てる会「病気の子どもとその家族を知り共に支え合うやさしい福島にしよう」
平成 29 年 3 月 12 日	第 8 回福島県早春木球大会いわき大会
平成 29 年 3 月 18 日	第7回いわき明星大学長杯中学生ソフトテニス大会
平成 29 年 3 月 18 日	第 42 回いわき地区高校サッカー大会(3/18、3/19)
平成 29 年 3 月 20 日	学位記授与式 着付け・メイク・写真 一式
平成 29 年 3 月 25 日	いわき光洋高等学校 吹奏楽部 第 2 回定期演奏会

■キャンパスマップ



■建物修繕履歴

修繕建物： 大学会館

修繕箇所： 内装修理、バルコニー雨漏り修理、中古エアコン設置

修繕工期： 平成 28 年 8 月～9 月

修繕建物： 本館

修繕箇所： 受変電設備高圧機器更新

修繕工期： 平成 28 年 11 月

10) 報道・雑誌掲載

- オーキャン実施 (2017/03/29 いわき民報)
- 薬剤師合格率 2年連続合格率 (2017/03/29 福島民報民友いわき民報)
- 子供の貧困問題 教養学部鎌田教授 (2017/03/29 福島民友)
- 檜葉南小・檜葉北小卒業式 (2017/03/21 いわき民報)
- 学位記授与式 看護学部内覧会行う (2017/03/21 いわき民報)
- 201人学位記授与式 看護学部実習施設を公開 (2017/03/21 福島民報)
- 5団体が地域の取り組みを発表 (2017/03/16 いわき民報)
- キャンパス通信 薬剤師受験者を激励 (2017/03/19 福島民友)
- 時評 2017 教養学部松本麻子准教授 (2017/03/14 いわき民報)
- 大学、高専教授ら取り組み成果報告 (2017/03/11 福島民報)
- 超高齢化社会テーマ (2017/03/11 福島民報)
- 地域の課題解決へ提案 (2017/03/07 福島民報)
- 小宅客員教授 好間の歴史文化を学ぶ (2017/03/07 福島民報)
- 石川特任教授 放射線の基礎知識学ぶ (2017/03/07 福島民報)
- キャンパス通信 柔軟な履修が可能 (2017/03/07 福島民友いわき特別版)
- 地域連携協議会 新入社員合同研修 (2017/03/04 福島民報)
- サテライト校など卒業式 (2017/03/02 福島民友)
- サテライト校 休校 (2017/03/02 福島民報)
- サテライト校 卒業式 (2017/03/01 いわき民報)
- 生涯学習研修会 発達障がい者の理解、対応講和 (2017/02/25 いわき民報)
- 第19回生涯学習研修会 発達障害に理解深める (2017/02/25 福島民報)
- 医療職種志す学生に特別講演会 (2017/02/23 いわき民報)
- 特別講演会「夢あふれる医療者になろう！」 (2017/02/23 福島民友)
- 東邦銀行と協定 (2017/02/22 福島民友)
- 東邦銀行と産学連携で協定 (2017/02/22 福島民報)
- キャンパス通信 HP制作 試行錯誤 (2017/02/19 福島民友いわき特別版)
- トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム (2017/02/15 いわき民報)
- 健康医療科学部(仮称)を新設 (2017/02/14 いわき民報)
- 健康医療科学部新設へ19年目標 (2017/02/17 福島民友)
- 31年開設の健康医療科学部2学科設置 (2017/02/14 福島民報)
- 「健康医療科学部」31年度開設目指す (2017/02/15 福島民報)
- 市薬業学部連携協議会の勉強会 (2017/02/15 いわき民報)
- 29年建国記念弓道大会 (2017/02/15 いわき民報)
- いわきサンシャインマラソン (2017/02/14 福島民友)
- 夢あふれる医療者になろう 講演会 (2017/02/14 いわき民報)
- 大島准教授がストレスを説明 (2017/02/09 いわき民報)

- キャンパス通信 企業の課題へ企画案 (2017/02/05 福島民友いわき特別版)
- 再エネ研究 5年成果 4大学発表会 (2017/02/05 福島民友)
- 震災アーカイブ室 川副早央理研究員 (2016/04/23 未来会議)
- TOP INTERVIEW 山崎学長 (2017/01 カレッジマネジメント)
- 街活性化へ研究成果発表 (2017/01/20 福島民報)
- 2017年 いわき市 新春提言 (2017/01/19 福島民友)
- 大学入試センター試験始まる (2017/01/14 いわき民報)
- “ストレス”題に大島准教授 (2017/01/07 いわき民報)
- 2017 TOP INTERVIEW (2017/01/12 福島民報)
- 合同演奏 ウィンターコンサート (2016/12/21 福島民友)
- 清らかな音色披露 ウィンターコンサート (2016/12/19 福島民報)
- 指導者講習会の閉講式 (2016/12/24 福島民報)
- 参院選の投票率アップに貢献 (2016/12/21 いわき民報)
- 10団体吹奏楽演奏会ウィンターコン (2016/12/19 いわき民報)
- ビジネスプランコンテスト 科技中目さん最優秀賞 (2016/12/15 いわき民報)
- 学生考案ランチ登場 (2016/12/15 福島民友)
- 学生考案メニュー (2016/12/14 いわき民報)
- 看護学部解説記念 “命の食事” (2016/12/12 いわき民報)
- 看護学部解説記念講演会 食生活考える (2016/12/08 福島民友)
- 看護学部開設記念講演会 がんと食生活解説 (2016/12/06 福島民報)
- キャンパス通信 3年生引退の「卒業式」 (2016/12/04 福島民友いわき特別版)
- ハマコンでコラボ企画 (2016/12/04 福島民友いわき特別版)
- 献血冬の陣 学生らが協力呼び掛け (2016/12/01 福島民報)
- 市民献血街頭キャンペーン (2016/11/30 いわき民報)
- “浜魂” 教養学部の共催 (2016/11/30 いわき民報)
- 若手社員の定着、育成を 情報交換会 (2016/11/29 いわき民報)
- 知の現場 梅村教授 (2016/11/23 福島民友)
- 看護学部の推薦入試行う (2016/11/28 いわき民報)
- 浜魂 浜通り活性化へ意見 (2016/11/25 福島民報)
- 産業部会 情報交換 (2016/11/23 福島民友)
- 若手リーダー育成塾が閉講 (2016/11/23 福島民報)
- 看護学部開設記念講演会 (2016/11/19 福島民報)
- 多彩な計測機器展示 (2016/11/19 福島民報)
- 最新測定機器 集合 (2016/11/18 福島民友)
- 公文式学習の取り組み (2016/11/13 全私学新聞)
- パンダハウスに10万円 (2016/11/16 福島民報)
- 看護学部開設記念講演会を開催 (2016/11/06 いわき民報)
- 子育て講演会とコンサート (2016/11/11 福島民友)

- 一年生プレゼン大会 他県の成功例紹介 (2016/11/10 福島民報)
- いわき明星大優勝 市弓道大会 (2016/11/01 福島民報)
- 新設看護学部 12日に説明会 (2016/11/09 福島民友)
- 時評 2016 教養学部松本麻子准教授 (2016/11/08 いわき民報)
- キャンパス通信 地域のお店学園祭に (2016/11/06 福島民友いわき特別版)
- アニメで看護学部 PR (2016/11/18 福島民友)
- 看護学部の設置認可 (2016/11/01 いわき民報)
- 初出場で銅賞 (2016/10/31 いわき民報)
- 全日本吹奏楽初出場で銅賞 (2016/10/28 福島民報)
- 全日本吹奏楽コンの出場報告 (2016/10/28 いわき民報)
- 奏でよ いわきの響き (2016/10/28 いわき民報)
- 各地で学園・学校祭 (2016/10/28 福島民報)
- 薬剤師ら学び深める (2016/10/26 福島民友)
- 学園祭活気あふれる (2016/10/26 福島民友)
- 吹奏楽コンクール 出場2校の横顔紹介 (2016/10/25 いわき民報)
- 吹奏楽コンクール 植田中、磐城、湯本高が銀賞 (2016/10/24 いわき民報)
- “IMU フェス”明日まで開催中 (2016/10/20 いわき民報)
- 祝・第64回全日本吹奏楽コンクール出場おめでとう！ (2016/10/21 いわき民報)
- 全日本吹奏楽コンクール 心一つに力出し切る (2016/10/21 福島民友)
- 「吹奏楽王国」上達の秘密は (2016/10/26 朝日新聞)
- 市情報公開個人情報保護審 (2016/10/20 福島民友)
- 22日から学園祭 (2016/10/20 福島民友)
- 22、23日学園祭 (2016/10/19 いわき民報)
- 23日 ホームカミングデー (2016/10/12 いわき民報)
- “しゃれ乙ランチ”が優勝 (2016/10/17 いわき民報)
- プレゼン優勝「しゃれ乙ランチ」 (2016/10/16 福島民友いわき特別版)
- 学食プレゼン大会 (2016/10/16 福島民報)
- 企業人に必要なキャリア観学ぶ 若手リーダー育成塾 (2016/10/15 いわき民報)
- 教養、薬学部を体験 見学会 (2016/10/13 福島民報)
- 生涯学習開講 (2016/10/12 福島民友)
- 日本近代文学コースが開講生涯学習アカデミー (2016/10/11 いわき民報)
- 企業人の心構え伝授 若手リーダー育成塾 (2016/10/07 福島民報)
- 実際の講義受けてみよう 大学体験・見学会 (2016/10/06 いわき民報)
- キャンパス通信 素敵な先輩になる！ (2016/10/02 福島民友いわき特別版)
- 学生が献血呼び掛け (2016/10/02 福島民友いわき特別版)
- 生涯学習アカデミー開講 (2016/10/02 福島民報)
- 学生、献血協力を訴え (2016/09/27 福島民報)
- 私の改革論 山崎学長 (2016/09 Between)

- 学園祭ライブに加藤ミリヤ登場 (2016/09/19 いわき民報)
- 時評 2016 教養学部 能地克宜准教授 (2016/09/11 いわき民報)
- 吹奏楽団 全国大会への出場権獲得 (2016/09/11 福島民友)
- 吹奏楽団 全国切符 (2016/09/11 福島民報)
- 平成 28 年度 化学系学協会東北大会 (2016/09/07 いわき民報)
- キャンパス通信 ひとり暮らしの過ごし方 (2016/09/04 福島民友いわき特別版)
- 生涯学習講座 (2016/09/01 福島民友)
- 28 年度ふくし塾開講式を行う (2016/08/31 いわき民報)
- 第 17 回いわき明星大学賞学校弓道 (2016/08/30 いわき民報)
- 地域連携協総会 事例に地方再生ヒント示す (2016/07/14 いわき民報)
- 永遠の青春譜 薬学部 2 年生橋本 果林さん (2016/07/13 いわき民報)
- 磐城高 創立 120 周年記念式典 (2016/07/13 いわき民報)
- パンダハウスに寄付 (2016/07/12 福島民報)
- 特別インタビュー 小川哲生理事長 (2016/07 政経東北 7 月号)
- 進学フェアにぎわう (2016/07/10 福島民友)
- 地域連携を推進 協議会が総会 (2016/07/08 福島民報)
- 大学生 4 人に奨学金 いわき信組 (2016/07/06 福島民友)
- 市教委 外部委員に委嘱状 (2016/07/07 福島民友)
- 地域連携協議会 新入社員が合同研修 (2016/07/06 福島民友)
- キャンパス通信 セタイイベント来て (2016/07/03 福島民友いわき特別版)
- 地域の課題を考え行動に(PBL) (2016/06/16 いわき民報)
- プレゼン大会 魅力を発表 (2016/06/09 福島民友)
- プレゼン大会 学校の歴史、特徴発表 (2016/06/09 福島民報)
- プレオーキャン来年設置予定の看護学部など紹介 (2016/06/07 いわき民報)
- 感激の募金活動 (2016/06/05 福島民友いわき特別版)
- 地域課題学生が探る(PBL) (2016/06/01 福島民報)
- 学生が地域の課題解決(PBL) (2016/06/01 福島民友)
- 東京地区私大進学フェア (2016/05/30 福島民友)
- 地域公開講座 恋愛、教養、秀吉テーマに講義 (2016/05/28 いわき民報)
- 新たに看護学部設置へ (2016/05/22 いわきタイムス)
- 熊本地震に 101 万 3161 円 (2016/05/20 いわき民報)
- 熊本に101万円 (2016/05/20 福島民友)
- 熊本支援へ義援金 (2016/05/18 福島民報)
- 白衣授与式 (2016/05/16 薬事日報)
- 小川 哲生理事長に聞く (2016/05/13 福島民友)
- 時評 2016 教養学部 能地克宜准教授 (2016/05/10 いわき民報)
- 続いわき学 小宅幸一地域基盤型客員教授 (2016/05/06 いわき民報)
- 薬剤師合格率 1 位「98.7」 (2016/05/01 福島民友いわき特別版)

- 運営に関する基本事項を締結（2016/05 広報いわき 5月号）
- 表彰 市民栄誉賞 教養学部根本直人特任教授（2016/05 広報いわき 5月号）
- 熊本への募金協力呼び掛け（2016/04/28 福島民報）
- 11.6%が国公立大合格（2016/04/27 福島民報）
- 白衣授与式 医療人の使命、責任誓う（2016/04/25 いわき民報）
- 白衣授与式 医療人へ決意新た（2016/04/25 福島民友）
- 実習に向け白衣授与（2016/04/25 福島民報）
- 県警本部がサイバー犯罪対策アドバイザーを委嘱（2016/04/14 福島民報）
- 県警、3人に委嘱状サイバー犯罪対策（2016/04/13 福島民友）
- 11月12日 グラウンドで（2016/04/07 いわき民報）
- ビジネスマナー新入社員に解説（2016/04/07 福島民報）
- 地域社会学ぶ決意 女川出身:阿部紗季さん（2016/04/04 福島民報）
- 入学式 197人が学問に誓い（2016/04/04 福島民報）
- 入学式 学問研究にいそしむ（2016/04/04 福島民友）

